

日本化学会第 100 春季年会(2020)のご案内

第 100 春季年会実行委員会

主 催 公益社団法人日本化学会
 共 催 東京理科大学
 会 期 2020 年 3 月 22 日(日)～25 日(水)
 会 場 東京理科大学 野田キャンパス (千葉県野田市山崎 2641)
 実行委員長 井手本 康 (東京理科大学 理工学部・教授)
 日程と内容 3 月 22 日(日): AP・ATP・受賞講演・特別企画・ポスター・展示会・ATP ポスター・ATP 交流会など
 3 月 23 日(月): AP・ATP・受賞講演・コラボレーション企画・ポスター・展示会・100 年会特別記念講演・表彰式・懇親会など
 3 月 24 日(火): AP・ATP・受賞講演・ノーベル賞受賞記念講演・コラボレーション企画・ポスター・展示会・Chem-Station イブニングミキサーなど
 3 月 25 日(水): AP・ATP・受賞講演・特別企画など
 問合せ先 日本化学会 企画部 年会係
 〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5
 会期前 電話(03)3292-6163 E-mail: nenkai@chemistry.or.jp
 会期中 電話(080)2267-2921 ※3 月 22 日～25 日
 URL: <https://www.csj.jp/nenkai/100haru/>

上記のとおり、日本化学会第 100 春季年会(2020)が開催されます。多くの会員の皆様が、本年会にご参加下さいますようお願い申し上げます。本号では、①当日登録、②会期中併催のイベント・シンポジウム情報をご案内申し上げます。

1. 当日登録のご案内

本年会への参加をご希望される方は、年会会場内の総合受付にて参加登録手続きを行って下さい。参加登録費は下表のとおりです。ただし、本誌 P294～P302 に掲載の併催イベントへの参加の場合、本年会への参加登録は原則不要です。※併催イベントのうち、ノーベル賞記念講演会およびランチョンキャリア相談会は参加登録が必要です。詳細は掲載ページにてご確認ください。

■中高生会員の皆様、本年会では参加登録は不要(無料)となります。奮ってご参加下さい。ただし、本年会で講演をする場合は、参加登録をしていただく必要がございます。その際には、「学生会員割引」にてお申し込み下さい。

■実行委員会では、海外の研究者や国内の外国人研究者、留学生が参加しやすい環境整備を進めています。昨年に引き続き、参加登録費の負担に配慮した下記の参加登録区分を設定します。※会員・非会員を問わず、参加申込の際に選択が可能です。

★「外国籍(一般)」当日 10,000 円 ★「外国籍(学生)」当日 4,000 円

表 1: 参加登録費等

会員区分	料金	課税区分
正会員	18,000 円	不課税 ※税の適用の対象外です。
正会員割引 ^{*1}	10,000 円	
学生会員(化学と工業を選択した学生)	6,000 円	
教育学生会員(化学と教育を選択した学生)	7,000 円	
学生会員割引 ^{*2}	4,000 円	
教育会員	10,000 円	
法人正会員 ^{*3}	18,000 円	課税 ※左記の金額は税込です。
非会員	30,000 円	
入会準備学部学生 ^{*4}	2,000 円	
外国籍(一般) ^{*5}	10,000 円	
外国籍(学生) ^{*5}	4,000 円	

表 2: 追加予稿集代・懇親会費

内容	料金	課税区分
講演予稿集(DVD)	10,000 円	課税
懇親会費(一般)	6,000 円	
〃(学生)	2,000 円	

※1 満 60 歳以上で定職に就いていない方

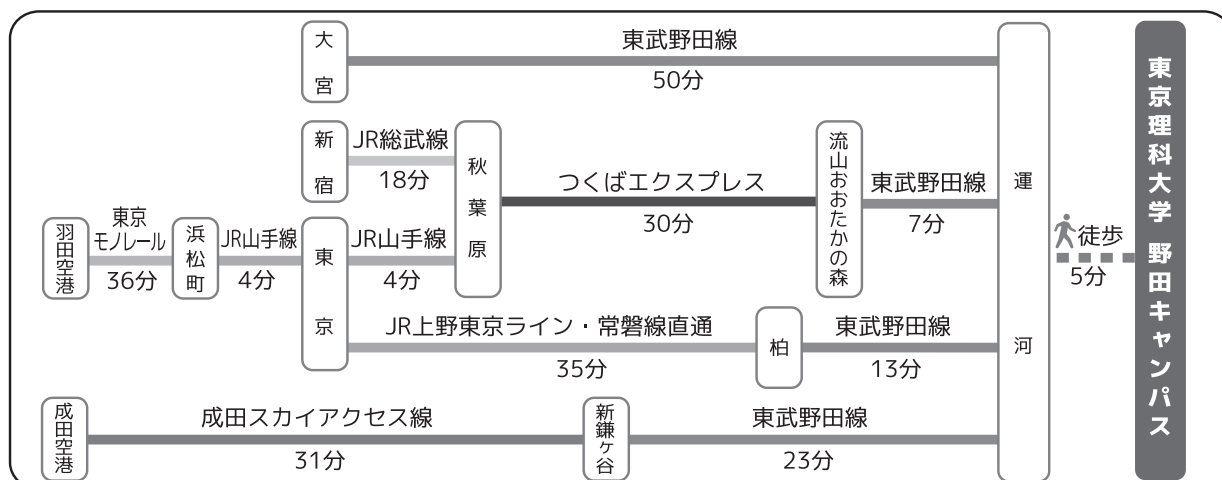
※2 学部 3 年以下の方(専攻科 1 年以下の高専生を含む)(通称: ジュニア会員)

※3 日本化学会の法人会員に登録している機関に所属の方

※4 研究発表を行わない非会員(未入会)の大学の学部学生および高等専門学校(高専)の学生が対象。ただし、参加登録費に講演予稿集 DVD は含まない。当日登録の際には学生証(コピー可)を必ずご提示下さい。

※5 会員・非会員を問わず、外国籍の方が対象。

日本化学会 第100春季年会
東京理科大学 野田キャンパス

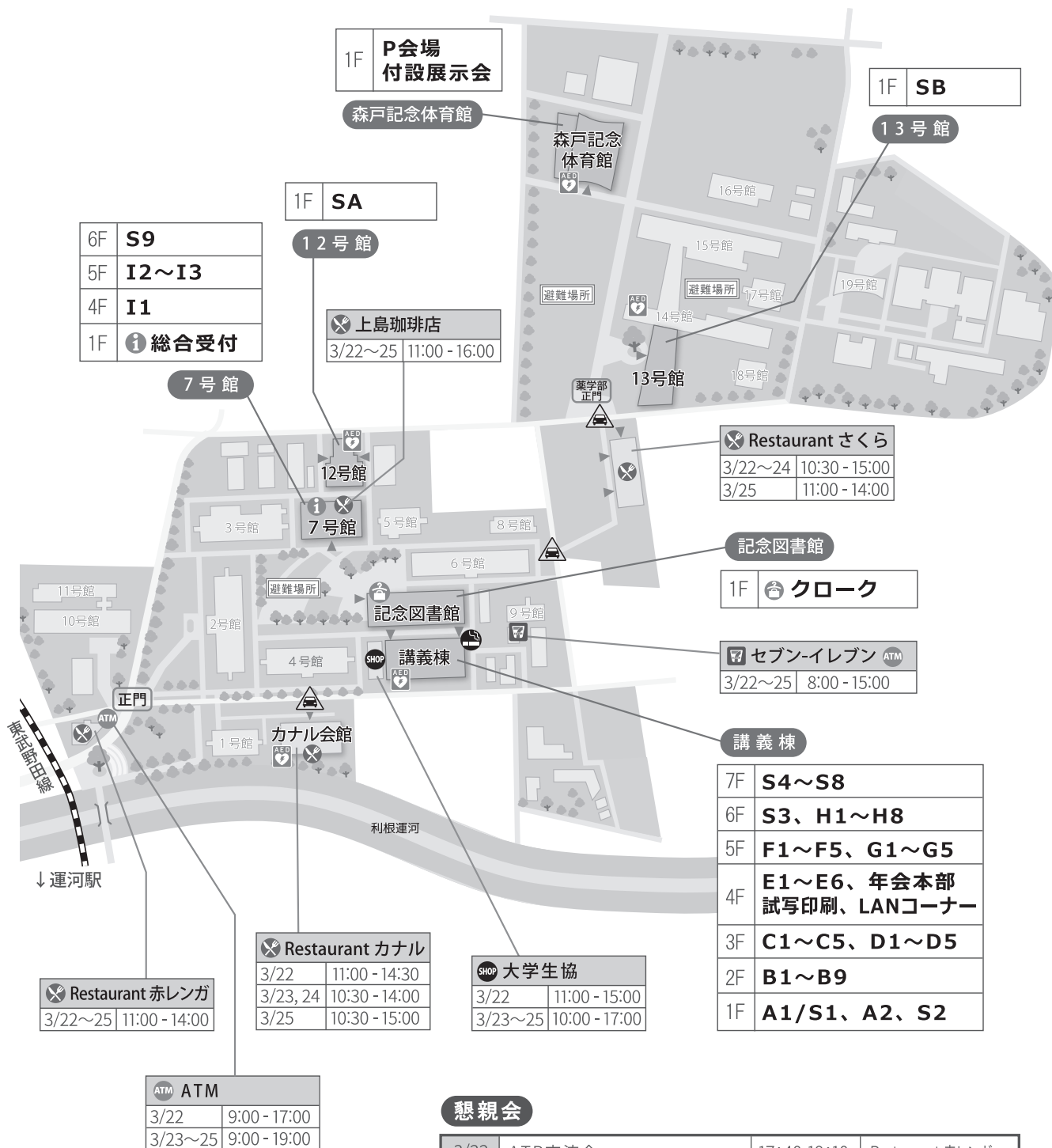


※上記の時間はあくまでも目安の時間です。交通所要時間は、余裕を持って想定して下さい。



日本化学会 第100春季年会
東京理科大学 野田キャンパス

総合受付		建物入り口	
クローク		車両注意	
喫煙所		AED	



3/22	ATP交流会	17:40-19:10	Restaurant 赤レンガ
3/23	第100春季年会 懇親会	18:00-20:00	Restaurant カナル 1F
3/24	男女共同参画 懇親会	17:30-19:00	Restaurant カナル 2F
	Chem-Station イブニングミキサー	18:00-19:30	Restaurant カナル 1F
	CSJ International Chemists' Evening Reception	18:00-19:30	Restaurant 赤レンガ

日本化学会第100春季年会（2020）

建物名・フロア・教室名		会場記号	3月22日 AM		P	3月22日 PM		3月23日 AM		P	3月23日 PM		
講義棟	1F	K101	A1/S1	T2B. グリーン水素製造・利用の学理				T2C. グリーン水素利用技術：東京2020大会を中心に					
		K102	A2	T2A. ペロブスカイト光電変換技術：実用化への課題				T2D. 蓄電社会の実現へ：Eモビリティから定置型まで					
		K103	S2	委) 超分子化学アジア会議									
	2F	K201	B1					13. 触媒		PB			
		K202	B2				02. 物理化学-構造			PC	02. 物理化学-構造		
		K203	B3					08F. 有機化学-有機光化学					
		K204	B4	08A. 有機化学-脂肪族・脂環式化合物									
		K205	B5	08A. 有機化学-脂肪族・脂環式化合物									
		K206	B6				PB	07A. 有機化学-構造と物性					
		K207	B7				PB	07A. 有機化学-構造と物性					
		K209	B8				07B. 有機化学-反応機構		08H. 有機-ハイスループット		PA	←07B. 有機化学-反応機構	
		K210	B9						13. 触媒		PB	13. 触媒	
	3F	K301	C1	14. コロイド・界面化学						PB	14. コロイド・界面化学		
		K302	C2	12. 高分子			PB	12. 高分子					
		K303	C3				PB	07A. 有機化学-構造と物性					
		K304	C4				PB	07A. 有機化学-構造と物性					
		K305	C5	99. ケミカルバイオロジー									
		K306	D1	99. ケミカルバイオロジー									
		K307	D2	04. 物理化学-反応						PC	04. 物理化学-反応		
		K308	D3	03. 物理化学-物性						PC	03. 物理化学-物性		
		K309	D4	12. 高分子			PB	12. 高分子					
		K310	D5	14. コロイド・界面化学						PB	14. コロイド・界面化学		
	4F	K401	E1	T1B. SDGs時代の素材：セルロースナノファイバー				T1C. インフォマティクスが拓くモノ作りの新しい潮流（I基礎と応用）					
		K402	E2	21. 理論化学・情報化学・計算化学				PC	21. 理論・情報・計算				
		K403	E3	08G. 有機化学-有機電子移動化学						08G. 有機化学-有機電子移動化学			
		K404	E4				22. 有機結晶		PB	22. 有機結晶			
		K405	E5	T3A. 未来の医療機器・ライフサイエンスを支える先端材料						T3B. 診断・予防化学が切り拓く未来のヘルスケア			
		K406	E6	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー						PC	10. 生体・バイオ		
	5F	K501	F1	15. 材料化学						PA	15. 材料化学		
		K502	F2	16. 材料の機能						PA	16. 材料の機能		
		K503	F3				PA	06. 錯体化学・有機金属化学					
		K504	F4	05. 無機化学						PA	05. 無機化学		
		K505	F5	08B. 有機化学-芳香族化合物									
		K506	G1	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー						PC	10. 生体・バイオ		
		K507	G2	10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー						PC	10. 生体・バイオ		
		K508	G3	08D. 有機化学-ヘテロ原子化合物						PB	08D. 有機-ヘテロ原子化合物		
		K509	G4				PA	06. 錯体化学・有機金属化学					
		K510	G5				17. 材料の応用						
	6F	K601	S3					委) キャリアバス相談ランチョンセミナー					
		K602	H1	08E. 有機化学-有機金属化合物									
		K603	H2				PA	06. 錯体化学・有機金属化学					
		K604	H3				PA	11. 分析化学					
		K605	H4	08C. 有機化学-複素環化合物						PB	08C. 有機化学-複素環化合物		
		K606	H5	09. 天然物化学									
		K607	H6	09. 天然物化学									
		K609	H7				PA	06. 錯体化学・有機金属化学					
		K610	H8	08E. 有機化学-有機金属化合物									
		7F	K701	S4							コラボ) ナノ空間と物質科学		
	K702		S5	企) 放射光小角X線散乱		委) 化学教育フォーラム		特) 外国人の特別講演		中) 生体分子解析と情報科学			
	K703		S6	企) 質量分析が拓く革新的医療技術		委) 化学遺産市民公開講座		中) 生命科学における化学		コラボ) 超空間制御			
	K704		S7	企) 細胞分析		企) エネルギーデバイスの新潮流		コラボ) 発動分子科学		中) ナノシート錯体			
	K705		S8	企) 分子空間化学		委) 化学と情報科学との融合		コラボ) JSTさがけ1細胞					
7号館	4F	7407	I1				20. 環境・グリーンケミストリー		20. 環境・グリーン→	PA	20. 環境・グリーンケミストリー		
	5F	7504	I2				PA	←01. 化学教育・化学史		01. 化学教育・化学史			
		7507	I3	19. エネルギーとその関連化学, 地球・宇宙化学									
	6F	講堂	S9	学会賞								表彰式／100年会特別記念講演	
12号館	1F	1211	SA	企) 自然から学ぶ生命化学			委) ナカニシシンポジウム		学会賞		中) 人工光合成		
13号館	1F	1311	SB	企) 分子レジデンス			市民公開講座 夢をかなえる科学						
森戸記念体育館	1F	アリーナ	P	ポスター／展示会									
3号館	1F	分析化学実験室	-	実験教室									
建物名・フロア・教室名		会場記号	3月22日 AM		P	3月22日 PM		3月23日 AM		P	3月23日 PM		

- 分類名の前の数字/記号…[01-22, 99…アカデミック・プログラム]、[T1-T4…ATP]、[企…特別企画]、[コラボ…コラボレーション企画]、[中…中長期テーマシンポジウム]、[委…委員会企画]、[特…外国人の特別講演]
 ●会場記号…[企、コラボ、中、委]の実施時のみS1～SB会場として使用。それ以外はA1～I3会場として使用
 ●ポスター…森戸記念体育館にて3月22日-24日の3日間実施。時間帯はPA(10:00-11:30)、PB(12:30-14:00)、PC(15:00-16:30)の3種類

日程表

3月24日 AM	P	3月24日 PM	3月25日 AM	3月25日 PM	教室名	会場記号
委) 論説フォーラム「大学革命」		委) 第2回日台シンポジウム			K101	A1/S1
T2E. 未利用熱利用・エネルギーハーベスティングの課題と未来			T4. シーズ共創セッション ～ホンネで語ろう、産学連携の新しいカタチ～		K102	A2
委) TCRレクチャー		委) ジャーナルフォーラム			K103	S2
13. 触媒					K201	B1
アジア国際シンポジウム（物理化学／理論化学・情報化学・計算化学）-分子科学会共催-					K202	B2
08F. 有機化学-有機光化学→	PA	アジア国際シンポジウム（光化学）			K203	B3
08A. 有機-脂肪族・脂環式	PC	08A. 有機-脂肪族・脂環式			K204	B4
08A. 有機-脂肪族・脂環式	PC	08A. 有機-脂肪族・脂環式			K205	B5
07A. 有機化学-構造と物性					K206	B6
07A. 有機化学-構造と物性					K207	B7
08H. 有機-ハイスループット	PC	08H. 有機化学-ハイスループット合成			K209	B8
13. 触媒					K210	B9
14. コロイド・界面化学		アジア国際シンポジウム（コロイド・界面化学）	14. コロイド・界面化学		K301	C1
12. 高分子					K302	C2
07A. 有機化学-構造と物性					K303	C3
07A. 有機化学-構造と物性					K304	C4
	PA	99. ケミカルバイオロジー			K305	C5
	PA	99. ケミカルバイオロジー			K306	D1
04. 物理化学-反応					K307	D2
			03. 物理化学-物性		K308	D3
12. 高分子					K309	D4
14. コロイド・界面化学					K310	D5
T1D. インフォマティクスが拓くモノ作りの新しい潮流（II 機能材料）			T1A. ヒトとヒト，モノとモノをつなぐためのデバイスとマテリアル		K401	E1
					K402	E2
08G. 有機-有機電子移動化学→	PA	アジア国際シンポジウム（電気化学）			K403	E3
22. 有機結晶		アジア国際シンポジウム（有機結晶）			K404	E4
		T3C. モダリティ新時代を築くバイオベンチャー			K405	E5
10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー					K406	E6
15. 材料化学		アジア国際シンポジウム（ナノテク・材料化学）	15. 材料化学		K501	F1
16. 材料の機能			16. 材料の機能		K502	F2
06. 錯体化学・有機金属化学					K503	F3
05. 無機化学		アジア国際シンポジウム（無機化学／錯体化学・有機金属化学）	05. 無機化学		K504	F4
08B. 有機化学-芳香族化合物	PC	08B. 有機化学-芳香族化合物			K505	F5
10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー					K506	G1
10. 生体機能関連化学・バイオテクノロジー					K507	G2
08D. 有機化学-ヘテロ原子化合物					K508	G3
		06. 錯体化学・有機金属化学			K509	G4
17. 材料の応用	PB				K510	G5
					K601	S3
08E. 有機-有機金属化合物	PA	08E. 有機化学-有機金属化合物			K602	H1
06. 錯体化学・有機金属化学					K603	H2
11. 分析化学					K604	H3
08C. 有機化学-複素環化合物					K605	H4
	PA	09. 天然物化学			K606	H5
	PA	09. 天然物化学			K607	H6
06. 錯体化学・有機金属化学					K609	H7
08E. 有機-有機金属化合物	PA	08E. 有機化学-有機金属化合物			K610	H8
コラボ) Reaxys Prize Club シンポジウム Japan		委) 働き方改革時代			K701	S4
		中) 革新的触媒	企) ジャイロイドの物質科学		K702	S5
		コラボ) ハイドロジェノミクス	企) ルミネッセンス化学	企) マイクロ波化学プロセス	K703	S6
コラボ) TIA量子反応シンポ		中) 次世代分子システムの化学	企) ナノ構造・物性解析	企) キロブティカル	K704	S7
コラボ) 化学者の新しいキャリア考			企) レチナール蛋白質と化学	企) 機能性色素	K705	S8
18. 資源利用化学	PB	←18. 資源利用化学			7407	I1
01. 化学教育・化学史					7504	I2
19. エネルギー・地球・宇宙	PB				7507	I3
学会賞					講堂	S9
					1211	SA
		ノーベル賞受賞記念講演			1311	SB
ポスター／展示会					アリーナ	P
					分析化学実験室	-
3月24日 AM	P	3月24日 PM	3月25日 AM	3月25日 PM	教室名	会場記号

●その他サービス関連

- 総合受付【7号館 1F】
- クローク【記念図書館 1F】
- 印刷・試写・LANコーナー【講義棟 4F】
- 休憩所【講義棟 4F・6F・7F および 7号館 4F】
- 年会本部【講義棟 4F】

名種全圖——覽

本年会では下表の通り様々な企画を予定しております。各企画の詳細情報は次頁以降又はプログラムにてご確認ください。

[illegible]

企 画 別	精密に制御されたキラリ空間に基づくキロブアイカル特性：産業への移行を見据えた先端学理 マイクロ波加熱と化学プロセス	S7																★	
	International Symposium on Molecular Science - Physical Chemistry / Theoretical Chemistry, Chemoinformatics, Computational Chemistry - Cosponsored by Japan Society for Molecular Science	S6																★	
シ ア ン ポ ジ ン グ の 際 に	Asian International Symposium - Photochemistry -	B2																★	
	Asian International Symposium - Inorganic Chemistry / Coordination Chemistry and Organometallic Chemistry -	B3																★	
	Asian International Symposium - Electrochemistry -	F4																★	
	Asian International Symposium - Advanced Nanotechnology -	E3																★	
	Asian International Symposium - Colloid and Surface Chemistry -	F1																★	
	Asian International Symposium - Organic Crystals -	C1																★	
	Supramolecular latches: a new tool for Chemistry, biology and materials sciences	E4																★	
	Supramolecular Free Radicals	B6																★	
	Applications of Main Group Heterobimetallics: Catalysis and Templated Metallation	B6																★	
	Ylides and Chiral Salts in Synthetic Chemistry	S5																★	
▼ 以下は懇親会等の企画です。																			
懇 親 会 等	第100春季年会 懇親会	-																-	参加登録時に申込または当日受付
	ATP交流会	-																★	当日受付。ATPポスター講演者、学生無料
	Chem-Station イブニングミキサー	-																★	当日受付
▼ 以下は併催イベントです。一部、年会参加登録が必要な企画がございます。																			
コ ラ ボ レ ー シ ョ ン 企 画	JST さきがけ「1細胞解析」領域、第6回成果報告会-3期生（平成28年度採択） 新学術領域研究「発動分子科学」報告会 ～化学者と物理系および生物系研究者がコラボレーションする発動分子～	S8																-	Webサイトより申込
	(JST) CREST「超空間制御」研究成果報告会	S7																-	
	ナノ空間を反応場・デバイスとして活用する物質科学	S6																-	
	TIA連携プログラム探索事業「かけはし」量子反応シンポジウム	S4																-	
	Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan 2020	S7																-	Eメールにて申込
	変化する化学研究手法に合わせたキャリアを考える	S4																-	
	ハイドロジェンミクス：高次水素機能による革新的材料・デバイス・反応プロセスの創成	S8																-	*ランチョンセミナー、Webサイトより申込または当日受付
	超分子化学アジア会議	S6																-	
	化学と情報科学との融合	S2																★	
	天然物および生物有機化学に関するナカニシンポジウム2020	S8																-	
委 員 会 企 画	第14回化学遺産市民公開講座	SA																-	
	第27回化学教育フォーラム「観察、実験を位置づけた授業実践ができる教員の育成」 大学生・大学院生のためのキャリアパスを考える相談会（ランチョンセミナー）～企業で研究者になるために必要なことは？今の研究をどう活かす？～	S6																-	
	ケミカルコード・レクチャー 2020	S5																-	
	論説フォーラム、徹底討論、「大学革命—今やらなければ—：第2弾」	S3																★	*ランチョンセミナー、Webサイトより申込または当日整理券配布
	第2回 台湾化学会/日本化学会 国際シンポジウム —Catalyst for Energy Conversion & Storage—	S2																-	
	CSIジャーナルフォーラム「研究成果を世界に魅せる」	S1																-	
	第20回シンポジウム 働き方改革時代におけるプロモーションとマネジメント	S4																-	
																		-	
																		-	
																		-	

会期中の併催イベント

表彰式

日時：3月23日(月) 14時00分～15時00分
会場：S9会場(7号館6階講堂)

プログラム

- 14:00- 第1部 学術業績への表彰
- 第2部 化学会事業関連の表彰

第100春季年会 特別記念講演会

日時：3月23日(月) 15時15分～16時30分
会場：S9会場(7号館6階講堂)

第1年会(1948年)が東京と大阪で開催されて以来、回を重ねて、今年度の春季年会は第100回という節目の年会にあたります。川合眞紀会長、野依良治元会長、小林喜光会長最終候補者に第100回を記念して、今後の年会と日本化学会について語っていただきます。

プログラム

- 15:15- 化学オーケストラ
- 15:30- 日本の科学の生命線：国際化そしてダイバーシティー
2018、2019年度会長 川合 眞紀(分子研)
- 15:50- 「日本の化学」が真のCentral Scienceになるために
2002年度会長 野依 良治(JST)
- 16:10- 地球と共存する化学 ～Chemistry as a Service～
2020、2021年度会長最終候補者 小林 喜光(三菱ケミカルHD)

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。当日会場にて受付。

問合先：日本化学会 総務部 河合・田中

電話(03)3292-6161

E-mail: soumu@chemistry.or.jp

ノーベル化学賞受賞記念講演会

主催：日本化学会 第100春季年会実行委員会
日時：3月24日(火) 15時25分～16時30分
会場：SB会場(13号館1階1311教室)

第100春季年会実行委員会では、旭化成株式会社・名誉フェロー 吉野 彰先生によるノーベル賞特別講演会を企画いたしました。講演は、質疑応答を含め1時間を予定しております。

プログラム

- 15:25- 主催者 挨拶
- 15:30- リチウムイオン電池が拓く未来社会(旭化成・名誉フェロー) 吉野 彰

参加費：年会参加登録者に限る。

申込方法：本企画では定員を管理するため、入場整理券を下記の配布所にて3月24日8:30より配布いたします。聴講を希望される方は必ず整理券をお受け取りの上、ご参加下さい。

整理券配布所：7号館入口付近

配布方法：お一人様1枚のみ。受取り時に参加登録証の提示が必要です。なお、整理券配布は所定枚数がなくなり次第終了いたします。定員は500名を予定しています。

問合先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

市民公開講座 夢をかなえる科学

主催：日本化学会 第100春季年会実行委員会

共催：東京理科大学

後援：野田市教育委員会、柏市教育委員会

日時：3月22日(日) 13時25分～17時

会場：SB会場(13号館1階1311教室)

春季年会実行委員会では、一般市民の方々を対象とする恒例の「市民公開講座」を下記の内容で企画いたしました。今回も市民の方々の生活に密接に関連した身近な話題を、専門の先生方にやさしくお話していただきます。どの先生もそれぞれの分野でご活躍の著名な先生方ですので、十分楽しんでいただける半日になると思います。奮ってご参加下さい。

プログラム

- 13:30- 新たな魔球は創りだせるか(理研) 姫野 龍太郎
- 14:20- 枯山水とヒトゲノム ～余白領域への科学～(東工大生命理工) 相澤 康則
- 15:20- スーパー分子をつくる(名大 WPI-ITbM) 伊丹 健一郎
- 16:10- 睡眠覚醒の謎に挑む(筑波大 IIS) 柳沢 正史

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合先：日本化学会 企画部 年会係

電話(03)3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

実験教室 ～不思議なカラーマジック！～

主催：日本化学会 第100春季年会実行委員会

共催：東京理科大学

後援：野田市教育委員会、柏市教育委員会

協力：日本化学会 普及・交流委員会

日時：3月22日(日)

会場：東京理科大学 野田キャンパス 3号館1階 分析化学実験室

私たちの身のまわりで化学がどのように役立っているかを広く知ってもらうために、小学生を対象とした実験教室を開催いたします。

プログラム

実施全3回 (1)10:00- (2)12:30- (3)14:00-

(実施時間は約1時間) ※詳細はWEB

(<https://www.csj.jp/nenkai/100haru/5-2.html>) をご覧下さい。

参加費：無料

対象：小学生

申込方法：事前申込制(先着順)。WEBの申込フォームよりお申込み下さい。

URL: <https://www.csj.jp/nenkai/100haru/5-2.html>

問合先：日本化学会 企画部 年会係

電話 (03) 3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

付設展示会

主催：日本化学会

協力：(株)化学工業日報社

共催：東京理科大学

後援：一般社団法人日本科学機器協会・一般社団法人日本分析機器工業会・日本薬科機器協会・一般社団法人日本試薬協会

日時：3月22日(日)～24日(火) 10時～17時

会場：森戸記念体育館

参加費：無料

出展社：(1月20日現在)

(株)アイシス、(株)アイビック・リサーチ、朝日分光(株)、(株)朝日ラボ交易、アドバンスソフト(株)、イカジャパン(株)、石原産業(株)、ウェーブファンクション・インク、英弘精機(株)、HPCシステムズ(株)、ACS PUBLICATIONS、(株)エリカオプテカル、エルゼビア・ジャパン(株)、大塚電子(株)、オプトシリウス(株)、(株)化学工業日報社、一般社団法人化学情報協会、(株)化学同人、関東化学(株)、CAS、有限会社桐山製作所、楠本化成(株)、(株)グローブボックス・ジャパン、(株)ケー・エヌ・エフ・ジャパン、コンフレックス(株)、(株)シーエーシー、CEM Japan(株)、シーシーエス(株)、重松貿易(株)、四国化成工業(株)、システム・インストルメンツ(株)、(株)システムハウス・サンライズ、柴田科学(株)、ジャパンハイテック(株)、シュプリンガー・ネイチャー、シュレーディング(株)、湘南丸八エステック(株)、(株)神鋼環境ソリューション、(株)セルシステム、(株)ダイセル、ダッソー・システムズ(株)、田中貴金属工業(株)、(株)DFC、(株)デジタルデータマネジメント、TAYLOR & FRANCIS ASIA PACIFIC、(株)テクノシグマ、輝達商事(株)、(株)東京インストルメンツ、(株)東京化学同人、東京化成工業(株)、東京ダイレック(株)、東京理化工機(株)、中村科学器械工業(株)、中山商事(株)、公益社団法人日本化学会学術情報部、公益社団法人日本技術士会、一般社団法人日本試薬協会、日本製紙クレシア(株)、日本ゼオン(株)、日本電子(株)、日本ビュッヒ(株)、日本分光(株)、日本分析工業(株)、ノーザンサイエンスコンサルティング(株)、(株)パーキンエルマー・ジャパン、パーソルテンプスタッフ(株)、バイオタージ・ジャパン(株)、バイオタージ・ジャパン(株)、バイオ・ラッド・ラボラトリーズ(株)、(株)バキューブランドサイエンティフィック・ジャパン、浜松ホトニクス(株)、ハリオサイエンス(株)、ビー・エー・エス(株)、富士シリシア化学(株)、富士通(株)、富士フイルム和光純薬(株)、文部科学省ナノテクノロジープラットフォーム、ブルカー・ジャパン(株)、(株)POL、丸善出版(株)、丸善雄松堂(株)、メトラ・トレド(株)、メルク(株)、(株)モルシス、山善(株)、(株)UNICO、(株)ユニソク、ユラボジャパン(株)、(株)ライトストーン、ラサ工業(株)、(株)リアクト、(株)リガク、ロイヤルソサエティー・オブ・ケミストリー・ジャパン(株)、(株)ロゼッタ、(株)ワールドインテック R&D 事業部、(株)ワイエムシー、ワイリー、渡辺化学工業(株)

元素川柳コンテスト

日時：3月22日(日)～24日(火) 10時～17時

会場：森戸記念体育館

第100春季年会実行委員会は、参加者の皆様に「元素という切り口から、化学により親しみを感じていただきたい」との思いから、元素川柳コンテストを開催いたします。応募いただいた作品を付設展示会場に掲示します。

参加費：無料

申込方法：事前申込不要

問合先：日本化学会 企画部 年会係

電話 (03) 3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

懇親会

日時：3月23日(月) 18時～20時

会場：東京理科大学 野田キャンパス Restaurant カナル 1階

今回の懇親会では世代を超えて各界各層の懇談の場とするべくより実質的な企画となっております。先生方におかれましては学生の参加費は低く抑えておりますので、ぜひお問い合わせの上ご参加いただけますと幸いです。

参加費：(予約) 一般5,000円、学生2,000円

(当日) 一般6,000円、学生2,000円

申込方法：年会会場内の総合受付にてお申し込み下さい。※懇親会へのみの参加も可能です。

問合先：日本化学会 企画部 年会係

電話 (03) 3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

ATP 交流会

日時：3月22日(日) 17時40分～19時10分

会場：Restaurant 赤レンガ

気軽に立ち寄れる出会いと交流の場を、春季年会参加者の皆様に提供します。**ATP セッションの講師やオーガナイザーも参加し、産官学の皆様が face-to-face で交流できる貴重な機会です。**アルコール、ソフトドリンク、軽食とともに、素敵なプレゼント抽選会などお楽しみも盛り沢山！是非お問い合わせで ATP 交流会へお立ち寄り下さい。**ATP ポスター講演者・学生は参加費無料です!!**

参加費：ATP ポスター講演者・学生無料、一般1,000円

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。

問合先：日本化学会 企画部 白石、河瀬

電話 (03) 3292-6163

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp

Chem-Station イブニングミキサー

日時：3月24日(火) 18時～19時30分

会場：東京理科大学 野田キャンパス Restaurant カナル 1階

学生や博士研究員を中心とする若手研究者や留学生の方に交流の場を Chem-Station より提供いたします。※詳細は WEB (<https://www.chem-station.com>) をご覧下さい。

参加費：無料

申込方法：年会参加者はどなたでも参加できます。事前申込は要りませんので、直接会場へお越し下さい。

問合先：日本化学会 企画部 年会係

電話 (03) 3292-6163

E-mail: nenkai@chemistry.or.jp

JST さきがけ「1細胞解析」領域、 第6回成果報告会-3期生 (平成28年度採択)

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構
日時：3月23日(月) 9時30分～15時10分
会場：S8会場(講義棟7階 K705教室)

平成26年度10月に発足したJST-さきがけ「1細胞解析」研究領域では、細胞の表現型・機能・個性やネットワーク・発生過程等を1細胞レベルで定量的・網羅的に極限の精度と分解能で解析するための革新的基盤技術の創出を目指し唯一無二の方法論・ツール開発に挑戦する若手研究者を幅広い分野から結集して研究を推進してきました。今回の第5回の成果報告会では、平成28年度採択のさきがけ研究者の中から7名の研究者が、さきがけプログラムの中で開発した革新的な1細胞解析・操作技術とその生物学研究への展開をわかりやすく紹介します。併せて、野地博行教授(東京大学大学院工学系研究科)に特別講演をしていただきます。さきがけ「1細胞解析」の研究成果を幅広い見地から評価、ご助言いただきますとともに、成果の活用・展開への機会といたしたく、奮ってご参加いただくことをお願いします。

プログラム

- 09:30- 開会の辞(京大院工) 浜地 格
Session 1 特別講演 座長：浜地 格(京大院工)
09:35- 人工細胞リアクタ技術で「はかる」「つくる」「ふやす」(東大院工) 野地 博行
Session 2 座長：小澤 岳昌(東大院理)
10:30- 1細胞パルペーションデバイスの創製(九大院工) 加地 範匡
11:00- 自然乳化を利用したマイクロ水滴内単一細胞イムノアッセイ(東北大多元研) 福山 真央
11:30- 細胞内機能を模倣したポリマー製フォトニック結晶ナノ共振器アレイの創製と1細胞代謝産物の非染色検出・定量への応用(阪府大院工) 遠藤 達郎
Session 3 座長：島本 啓子(サントリー生命科学財団)
13:00- 脂質ダイナミクスの精密解析技術の創出(名大ITBM研) 多喜 正泰
13:30- 超高感度・非破壊1細胞グライコーム解析技術の開発(産総研) 館野 浩章
14:00- 光応答性細胞固定化剤表面を用いた1細胞操作技術の開発と応用(東大先端研) 山口 哲志
14:30- 間葉系細胞の機能を制御する核酸アプタマースキャフォールド(東大院総合) 吉本 敬太郎
15:00- 閉会の辞(JST) 川口 哲

参加費：無料。日本化学会春季年会上に登録されていない方も無料で入場いただけます。

申込方法：下記サイトから申し込みをお願いします。

URL: <https://form.jst.go.jp/enquetes/SC-6>

問合先：国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部
ライフイノベーション G さきがけ1細胞解析担当
〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町
電話(03)3512-3524

E-mail: presto.single.cell@jst.go.jp

領域 HP: https://www.jst.go.jp/kisoken/presto/research_area/ongoing/1112066.html

新学術領域研究 『発動分子科学』報告会 ～化学者と物理系および 生物系研究者がコラボレーションする 発動分子～

主催：文部科学省 新学術領域研究「発動分子科学 エネルギー変

換が拓く自律的機能の設計」

日時：3月23日(月) 9時30分～12時30分

会場：S7会場(講義棟7階 K704教室)

生命は、「分子の機械的な動き」に「エネルギー変換」という機能を持たせることで、これまでの化学では到底創り出せないような機能を発現しています。新学術領域「発動分子科学」では、生体内で機能している分子機械の仕組みを、機械的・熱力学的に理解し、その概念を化学的に再構築することで、「分子が働く世界」の創造を目指しています。この企画では、物理学・生物学と化学の(主に若手の)研究者が集い、議論し、共同研究をしてきた、これまでの1年9ヶ月の研究成果を報告します。参加者とともに新しい研究領域を開拓してゆく場になれば幸いです。皆様のご来場をお待ちしております。

プログラム

- 09:30- 領域代表挨拶・領域の説明(東大院生命) 金原 数
09:45- DNA ナノ構造体上を走るタンパク質分子モーターの創出(情報通信研究機構) 古田 健也
10:10- 高速AFMによるDNAオリガミ分子機械駆動のリアルタイム観察(関西大化学生命工) 葛谷 明紀
10:25- 発動分子を目指した蛋白質制御のための物理化学的リガンド探索(東大医科研) 長門石 暁
10:45- 蛍光1分子観察法による膜分子の動態観察と機能の解明：G蛋白質共役型受容体の動的なモノマー・ダイマー変換(京大ウイルス・再生研) 笠井 倫志
11:05- 休憩
11:10- 発動分子の動きの集団化による時空間周期構造の形成と分子性材料の自律機能(北大院理) 景山 義之
11:30- 発動ゲル微粒子の一次元組織化・自己組織化(信州大繊維) 鈴木 大介
11:45- 発動分子の分子動力学シミュレーション(横浜市大生命医) 池口 満徳
12:10- 物理で理解する発動分子—1分子実験データから情報を絞り出す—(東北大院工) 鳥谷部 祥一

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接S7会場(講義棟7階 K704教室)にお越し下さい。

問合先：新学術領域研究「発動分子科学」事務局 寺西 優子
〒226-8501 神奈川県横浜市緑区長津田町 4259

電話(045)924-5781

E-mail: secretary@molecular-engine.bio.titech.ac.jp

ご案内：令和2年秋に研究計画の公募を行う予定です。

HP: <http://www.molecular-engine.bio.titech.ac.jp/>

(JST) CREST「超空間制御」 研究成果報告会

主催：国立研究開発法人科学技術振興機構

日時：3月23日(月) 13時30分～15時45分

会場：S6会場(講義棟7階 K703教室)

CREST「超空間制御」研究成果報告会を開催いたします。これまでの5回のシンポジウムでは「超空間」を主役とした化学への展開、その可能性についていろいろな角度から、ホットな話題を中心に講演を行ってきました。今回はCREST「2014年度採択4課題」がいよいよ最終年度となりました。過去5年半のCREST研究で生まれたそれぞれの課題の研究成果をわかりやすく説明いたします。いずれも挑戦的でキラリと光る独創的な課題であり、多くの重要な成果が生まれました。ご期待下さい。

プログラム

- 13:30- CREST 趣旨説明(三菱ケミカル) 瀬戸山 亨
13:45- アニオン超空間を活かした無機化合物の創製と機能開拓(京大) 陰山 洋
14:15- ソフトナノ空間を形成する自己組織化液晶高分子を基盤とする革新的輸送材料の創製(東大) 加藤 隆史

- 14:45- 超空間制御触媒による不活性低級アルカンの自在転換(早大) 関根 泰
15:15- 空間局在・分子超潤滑に基づく時空間空隙設計と高機能表示材料創生(京大) 山本 潤

参加費：無料(定員100名)

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ：国立研究開発法人科学技術振興機構 戦略研究推進部
〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's 五番町
電話(03)3512-3525 FAX(03)3222-2066
E-mail: CREST@jst.go.jp

ナノ空間を反応場・デバイスとして 活用する物質科学

主催：日本学術振興会「国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業」

共催：長崎大学大学院工学研究科

後援：文部科学省 新学術領域研究「精密制御反応場」, 「配位アシンメトリ」

日時：3月23日(月) 13時30分~16時30分

会場：S4会場(講義棟7階 K701教室)

日本学術振興会「国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業」(グリーンナノサイエンスの世界的研究拠点形成を志向した研究者育成)の成果報告会の一環として、合成化学・触媒化学・錯体化学・超分子化学の各分野で国際的に活躍している連携大学の外国人研究者を招へいし、次世代の学際的物質科学を志向した討論会を開催します。海外からの招へい者として、G. Clever(ドルトムント工科大), E. Meggers(マールブルグ大), O. Wenger(バーゼル大)を予定しています。

プログラム

- 13:30- Opening Remarks (Nagasaki Univ.) Masanari Kimura
13:35- Asymmetric Catalysis Directed by Metal-Centered Chirality (Phillipps-Universität Marburg) Eric Meggers
14:20- Allylic and Benzylic C-O Bond Cleavage Promoted by Pd/Phosphine-Borane Catalyst System (Nagasaki Univ.) Gen Onodera
14:40- Heteroleptic Coordination Environments and Architectures by Design (TU Dortmund Univ.) Guido Clever
15:25- Supramolecular Luminescent Metal Complexes Insulated by a Hydrogen-bonded Capsule (Nagasaki Univ.) Shinnosuke Horiuchi
15:45- Luminescence and Photoredox Chemistry of Metal Complexes made from Earth-abundant Elements (Univ. of Basel) Oliver Wenger

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ：長崎大学大学院工学研究科 木村 正成

〒852-8521 長崎県長崎市文教町1-14

電話(095)819-2677

E-mail: masanari@nagasaki-u.ac.jp

TIA 連携プログラム探索事業 「かけはし」量子反応シンポジウム

主催：国立研究開発法人物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点

共催：TIA 連携プログラム探索事業「かけはし」

日時：3月24日(火) 9時30分~12時30分

会場：S7会場(講義棟7階 K704教室)

TIA「かけはし」は、NIMSや東大などの研究機関が組織の枠を超えて連携し、「新領域を開拓するための支援」と「新しい知の

創造と産業界への橋渡し」を行うこと使命とする事業です。その中で、2019年度に新たに発足した「微視的電極過程における量子効果」プロジェクトでは、組織のみならず分野の枠を超え、実験と計算・化学と物理を融合させることでエネルギー変換反応の基礎的理解と新規原理による高効率化を目指します。今回のシンポジウムでは、当該プロジェクトに参画する研究者とともに、電極過程や反応における量子効果の研究において、先導的役割を果たしている研究者たちによる基調講演や招待講演などを企画します。

プログラム

- 09:30- 開会挨拶・趣旨説明 量子電極過程：1931年から2020年までの総括と今後の展望(物材機構)坂牛 健
10:00- 基調講演 白金電極上の水素の量子状態(東大)杉野 修
10:50- 休憩
10:55- 招待講演 反応経路に基づく動力学効果と量子効果へのアプローチ(北大)武次 徹也
11:25- 招待講演 水素の量子効果・同位体効果(原子力機構)志賀 基之
11:55- 招待講演 超高速ラマン分光で観る光受容タンパク質におけるプロトン移動ダイナミクス(理研)倉持 光
12:25- 閉会挨拶(物材機構)高田 和典

参加費：無料

申込方法：電子メールにて事前受付。

E-mail: sakaushi.ken@nims.go.jp

問合せ：国立研究開発法人物質・材料研究機構 エネルギー・環境材料研究拠点 坂牛

〒305-0044 つくば市並木1-1

E-mail: sakaushi.ken@nims.go.jp

Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan 2020

主催：エルゼビア・ジャパン株式会社

日時：3月24日(火) 9時30分~12時30分

会場：S4会場(講義棟7階 K701教室)

Reaxys PhD Prizeは、優れた化学博士課程の学生および新卒者の研究力を評価し、その研究成果とキャリアパスを広げるための支援を提供することによって、化学に革新をもたらす創造性の育成を目的として2010年から開催している国際アワードで、本年度10年目を迎えます。化学会にて恒例となりました「Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan」では、Reaxys PhD Prize受賞者とファイナリストからなるReaxys Prize Clubの若手研究者による研究発表をはじめ、著名な化学者からの基調講演や特別講演等のセッションを企画しております。多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

プログラム

- 9:30- 開演挨拶
9:40- 基調講演(北海道大学大学院工学研究院・教授)伊藤 肇
10:30- Reaxys Prize Club メンバーズからの研究発表(早稲田大学先進理工学部・講師)武藤 慶・(京都大学化学研究所)高畑 遼
12:00- エルゼビアセッション
12:25- 閉会挨拶
※プログラムは調整中のため変更が入る可能性があります。予めご了承ください。

参加費：無料

申込方法：申込不要(春季年会参加者)。直接会場にお越し下さい。

問合せ：エルゼビア・ジャパン株式会社 リサーチソリューションズ マーケティング担当

〒106-0044 東京都港区東麻布1-9-15 東麻布1丁目ビル4階

電話(03)5561-5034(代表)

E-mail: jp.pr@elsevier.com

変化する化学研究手法に合わせた キャリアを考える

主催：株式会社リバネス
日時：3月24日(火) 11時30分～13時00分
会場：S8会場（講義棟7階 K705教室）

情報科学の発展により、化学研究の手法は変わりつつある。特にこれからは、データ駆動型の化学が大きくなると予想されることが想定される中で、若手の化学研究者がどのような研究キャリアを進めるか、考える素材が必要だろう。そこで、ケモインフォマティクス分野でベンチャーとして活躍する起業家などを交えて、研究者の新たなキャリアの可能性について議論する。

プログラム

11:30- 話題提供（株式会社リバネス）
11:45- 登壇者紹介
12:00- ランチョンパネルディスカッション
12:50- 閉会挨拶

参加費：無料

申込方法：下記 URL より事前申し込み
<https://lne.st/chem200324>

席数に余裕がある場合には当日参加も受け付けます。

問合先：株式会社リバネス 齊藤 重永
〒162-0822 東京都新宿区下宮比町1-4 飯田橋御幸ビル5F
電話(03)5227-4198 FAX(03)5227-4199
E-mail: info@lne.st

ハイドロジェノミクス： 高次水素機能による革新的材料・ デバイス・反応プロセスの創成

主催：文部科学省 科学研究費助成事業 新学術領域研究（研究領域提案型）ハイドロジェノミクス：高次水素機能による革新的材料・デバイス・反応プロセスの創成
日時：3月24日(火) 13時30分～16時30分
会場：S6会場（講義棟7階 K703教室）

ハイドロジェノミクスとは、Hydrogen（水素）-omics（学問体系）であり、変幻自在な水素の性質を、人類が“使いこなす”ための指導原理となる新たな水素科学の構築を目指しています。本シンポジウムでは、まず、ハイドロジェノミクス・プロジェクトの挑戦の概要について述べた後に、高次水素機能をもつ革新的材料（プロトン・ヒドリド・リチウム高速伝導体、水素系超伝導体）・デバイス（燃料電池、電気化学デバイス）・反応プロセス（水素化反応）の創成について、化学が工学、物理学、生物学など幅広い分野と連携し、実験と理論が協働で創出している成果を紹介致します。皆様のご来場をお待ちしております。

プログラム

座長：宮武 健治（山梨大クリーンエネ研セ）
13:30- 主旨説明（東大物性研）森 初果
13:35- 高密度水素化物の材料科学—ハイドロジェノミクスでの挑戦—（東北大 AIMR/金研）折茂 慎一
14:00- 金属錯体による水素の高活性化—水素社会の基盤技術開発を目指して—（京大院人間環境）藤田 健一
14:25- 創製デバイス設計に向けた水素貯蔵高分子の高性能化（早大先進理工）小柳津 研一
座長：山内 美穂（九大 I2CNER）
14:50- ヒドリド導電体の物質開拓と電気化学デバイスへの応用可能性（分子研）小林 玄器
15:15- 金属水素化物エピタキシャル薄膜合成と電子・光学・イオン伝導機能（東工大物質理工学院）一杉 太郎
15:40- 中性子散乱による水素の観測（KEK 物構研）大友 季哉

16:05- 計測とシミュレーションの水素データ同化（東大院理）常行 真司

参加費：無料。日本化学会年會に参加登録されていない方も無料で入場できます。

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合先：東京大学物性研究所 森 初果
〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5-1-5

E-mail: hmori@issp.u-tokyo.ac.jp

ご案内：2020年秋に第2期公募研究の募集を行う予定です。

領域 URL：<https://www.hydrogenomics.jp/index.html>

超分子化学アジア会議

主催：日本化学会 国際交流委員会

共催：金沢大学ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI）

日時：3月22日(日) 9時30分～16時30分
3月23日(月) 9時00分～17時05分

会場：S2会場（講義棟1階 K103教室）

本シンポジウムは日本化学会春季年會100回の記念事業として、また国際交流活動の一環として日本5名、中国5名、韓国5名の超分子分野のライジングスターを招き、金沢大学ナノ生命科学研究所（WPI-NanoLSI）と共同で開催するものです。代表者：澤本光男常務理事、Organizer：生越友樹（京大院工・金沢大 WPI-NanoLSI）、Co-organizer：秋根茂久（金沢大 WPI-NanoLSI）、前田勝浩（金沢大 WPI-NanoLSI）、Honorary Organizer：藤田誠（東大院工）、八島栄次（名大院工）により本会議を開催します。本シンポジウムを起点として、アジア各国の超分子分野のライジングスターが継続的に集結する機会となり、アジアにおける超分子化学の更なる発展を促すことを期待しています。また本シンポジウムが、将来の日中韓間ネットワークの基盤構築を目的として、若い世代が向き合い、サイエンスだけでなく、個人的な人間関係を構築しながら理解を深める機会となることを期待しています。

プログラム

3月22日(日)
9:30- Opening Remarks (Managing Director CSJ, Chubu Univ.) SAWAMOTO, Mitsuo
9:40- Living Supramolecular Polymerization (NIMS) SUGIYASU, Kazunori
10:20- Artificially Designed High-Affinity Binding Pairs as a Novel Molecular Anchoring Tool for Chemical Biology (Inst. for Basic Sci.) PARK, Kyeng Min
11:05- Cellular Synthesis of Topological Proteins (Peking Univ.) ZHANG, Wen-Bin
11:45- Subnanometer-Resolution Atomic Force Microscopy in Liquid for Supramolecular Chemistry (Kanazawa Univ.) ASAKAWA, Hitoshi
13:30- N-Heterocyclic Imidazoliums and Carbenes as Key Functions in Metal-Organic Materials (POSTECH) LEE, Eunsung
14:10- Biomimetic Molecular Recognition in Water (SUS Tech.) JIANG, Wei
15:00-16:30 ATP Poster Session
3月23日(月)
9:00- Design and Functions of Supramolecular Materials Formed by Reversible and Movable Cross-Linkers (Osaka Univ.) TAKASHIMA, Yoshinori
9:40- Adaptive Supramolecular Nanomaterials (Korea Univ.) KIM, Yongju
10:30- Luminescent Organic Supramolecular Single Crystals (Jilin Univ.) ZHANG, Hongyu
11:10- Supramolecular Polyaromatic Capsules with Unusual Host Functions (Tokyo Inst. of Tech.) YOSHIZAWA, Michito
13:30- Rational Design of Responsive Metal-Organic Frameworks with Macrocyclic Complexes (UNIST) MOON, Hoi Ri

- 14:10- New Methods for Controllable Supramolecular Polymerization (Tsinghua Univ.) XU, Jiang-Fei
 15:00- Kinetically-Controlled Supramolecular Host-Guest Systems (Kanazawa Univ.) SAKATA, Yoko
 15:40- In vivo Proteomic Architecture Mapping by Proximity Labeling (Seoul Natl. Univ.) RHEE, Hyun-Woo
 16:20- Self-Assembly of Alternating Copolymers (Shanghai Jiao Tong Univ.) ZHOU, Yongfeng
 17:00- Closing Remarks (Kyoto Univ., Kanazawa Univ.) OGOSHI, Tomoki

参加費：無料（年会参加登録者に限る）

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 徳橋

電話 (03) 3292-6163

E-mail: tokuhashi@chemistry.or.jp

URL: <http://chem.s.kanazawa-u.ac.jp/coord/event/acsc2020/>

化学と情報科学との融合

主催：日本化学会 学術研究活性化委員会

日時：3月22日(日) 13時30分～17時30分

会場：S8会場（講義棟7階 K705教室）

情報科学技術が目覚ましく進展している今日において、情報科学と化学がうまく融合するためにはどのような仕組みが必要なのか、それらを支援する具体的な施策について、日本学術会議において提言書のとりまとめ作業が進められている。(1)産官学からなる「新化学創成協議会」の設置、(2)情報科学を活用した化学教育の変革、(3)散在する化学データベースを統合的に管理する「新化学創成センター」の新設、(4)多分野参画型の産学官連携大型国家プロジェクトの提案等が検討されている。ここでは、日本化学会においても広く議論を行うため、本シンポジウム企画した。

プログラム

座長：長谷部 伸治（京大院工）・佐藤 一彦（産総研触媒化学融合研セ）

13:30- 趣旨説明（東北大 WPI-AIMR）阿尻 雅文

13:45- 合成化学における AI の意味（京大院工）松原 誠二郎

14:20- 学ぶ AI から使う AI へ「AI と化学」の時代の情報教育—（大阪電通大工）阿久津 典子

14:55- 化学データの戦略的収集と戦略的創出（帝人ファーマ株式会社）上村 みどり

15:30- 新化学創成センター—AI 時代のデータ創出と機能分子創成—（産総研・主任研究員）石原 司

16:05- 化学と AI—学術から生産プロセスまで—（農工大院工）山下 善之

16:40- 総合討議

パネリスト：松原 誠二郎・阿久津 典子・上村 みどり・石原 司・山下 善之・長谷部 伸治・佐藤 一彦・阿尻 雅文（8 名）

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：日本化学会 企画部 徳橋

電話 (03) 3292-6163

E-mail: tokuhashi@chemistry.or.jp

天然物および生物有機化学に関する 中西シンポジウム 2020

主催：日本化学会 中西シンポジウム実行委員会

日時：3月22日(日) 13時30分～17時30分

場所：SA 会場（12 号館 1 階 1211 教室）

中西シンポジウムは、日本化学会と米国化学会との取決めにより偶数年度は日本で、奇数年度は米国にて選考されるナカニシ・プライズの受賞講演を含み、該当国で交互に開催されている。本プライズは生物活性天然物の単離、構造解析、生物機能、生合成および全合成分野での顕著な研究業績を対象に選考され、本年度は本化学会に設置された選考委員会によって、岸義人教授（ハーバード大学名誉教授）に授与されることに決定した。よって本企画は選考理由である「有機合成化学における顕著な業績とそれを用いた生命科学への貢献」に基づき、受賞者による講演に加えてこれに関連する最新の研究成果を周辺分野の研究者に紹介していただく。

プログラム

◆ 13:30-14:00 ナカニシ・プライズ授賞式

授与者：川合 眞紀（日本化学会会長）

座長：村田 道雄（阪大）

Nakanishi Prize 2020 Awardee: 岸 義人（ハーバード大学名誉教授）

◆ 14:00-17:00 中西シンポジウム

座長：有本 博一（東北大）

14:00- Synthetic Studies on Biologically Active Natural Products toward Practical Application（徳島大）難波 康祐

14:30- Synthesis of Polycyclic Alkaloids Based on Dearomative Oxidative Cyclization（東京農工大）長澤 和夫

座長：及川 英秋（北大）

15:00- Lessons from Total Synthesis of Carthamin, A Red Pigment from Safflower (Benibana)（東工大）鈴木 啓介

15:30- Studies on the Total Synthesis of Tetrodotoxin（東大名誉教授）福山 透

16:00- 休憩

座長：村田 道雄（阪大）

16:10- 受賞記念講演 Beyond Total Synthesis of Complex Natural Products（ハーバード大学名誉教授）岸 義人

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合せ先：及川 英秋 E-mail: hoik@sci.hokudai.ac.jp

日本化学会 企画部 櫻田

〒101-8307 千代田区神田駿河台 1-5

電話 (03) 3292-6163

E-mail: sakurada@chemistry.or.jp

第 14 回化学遺産市民公開講座

主催：日本化学会 化学遺産委員会・化学史学会

共催：日本化学工業協会

日時：3月22日(日) 13時30分～17時00分

会場：S6 会場（講義棟7階 K703 教室）

化学遺産委員会では、2009 年度から化学関連の学術あるいは技術遺産の中で特に歴史的に高い価値を有する貴重な史料を認定する『化学遺産認定制度』を開始し、これまでに 10 回 50 件を認定・顕彰した。2019 年度も前年度同様に化学遺産認定候補を一般市民・会員諸氏より公募するとともに、委員会でも認定候補として相応しいものを選定し、対象候補 17 件の調査・検証作業を行った。今回の市民講座では、特別講演 1 件とともに本年度第 11 回化学遺産として認定予定のものの具体的な内容をわかりやすく紹介する。

プログラム

座長兼総合司会（東理大）宮村 一夫

13:30- 開会挨拶（化学遺産委員会委員長/京大名譽）植村 榮

13:40- 我が国における蛋白質結晶学のあけぼの（兵庫県大院生命理）月原 富武

14:10- 近代化学教育の礎を築いた「大阪開成所全図」にみる舎密局（元京大）藤田 英夫

14:40- 日本初の純国産金属マグネシウム事業の誕生とその経過（宇部マテリアルズ）加藤 裕三

15:10- 日本初の西洋医学処方「美顔水」を生み出した桃谷順天館の歩み(桃谷順天館) 藤本 謙介
(休憩 10 分)
15:50- (特別講演)「しょうゆの基礎知識」(キッコーマン) 岡村 弘孝
16:50- 閉会挨拶(東理大) 宮村 一夫

参加費: 無料。希望者には別途資料有料配布(予価 1,000 円)
申込方法: 事前申込不要。当日会場にて受付。
問合先: 日本化学会 企画部 飛渡
電話(03)3292-6163
E-mail: chemarch@chemistry.or.jp
URL: <http://www.chemistry.or.jp/know/heritage/>

第 27 回化学教育フォーラム 「観察, 実験を位置づけた 授業実践ができる教員の育成」

主催: 日本化学会 化学教育フォーラム企画小委員会
日時: 3 月 22 日(日) 13 時 30 分~17 時 05 分
場所: S5 会場(講義棟 7 階 K702 教室)

教員養成の課題のひとつとして、「課題を解決するために必要な思考力, 判断力, 表現力を育む指導力を身につけることの必要性」が指摘されており, 理科においては, 観察・実験に関わる指導力の育成が欠かせない。しかし, 様々な調査で, 高等学校における観察, 実験の実施頻度は低い傾向にあることが報告されている。大学においても, 中学校, 高等学校で行われている観察, 実験について, 指導者の立場から検討を加える学びは必ずしも十分には行われておらず, 教育実習の指導の現場では, 内容に関する知識を持ち合わせていても, 観察・実験の指導のプロセスや, 観察・実験の手立てについて, 困難を感じている学生が存在する。新しい学習指導要領が告示され, 資質, 能力の育成がこれまでに以上に求められている。完全実施を目前にした今, 実践的な指導力を備えた教員の養成および研修について, 改めて考える機会としたい。

プログラム

13:30~16:00
講演 1 (仮題) 教員研修の立場から
東京農工大学 名誉教授 佐藤 友久
講演 2 (仮題) 教員研修の立場から
静岡県総合教育センター 参事 飯田 寛志
講演 3 (仮題) 教育実習の立場から
東京学芸大学附属高等学校 主幹教諭 坂井 英夫
講演 4 (仮題) 教育現場における実践者の立場から
埼玉県立越谷北高等学校 教諭 茂申 圭男
16:05~17:05 パネルディスカッション

参加費: 無料
申込方法: 事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合先: 日本化学会 企画部 大倉
E-mail: ohkura@chemistry.co.jp

大学生・大学院生のための キャリアパスを考える相談会 (ランチョンセミナー) ~企業で研究者になるために必要な ことは? 今の研究をどう活かす?~

主催: 日本化学会 産学交流委員会人材交流小委員会
日時: 3 月 23 日(月) 11 時 30 分~13 時 05 分
会場: S3 会場(講義棟 6 階 K601 教室)

科学技術で生き残りを図る日本においては, 科学技術を推進す

る原動力, イノベーションの担い手として, アカデミアのみならず産業界においても高度な知識と研究開発力を持った人材が, 変革の時代を迎える今こそ必要です。本企画は, 「企業で研究者になるために必要なことは? 今の研究をどう活かす?」を知るため, 企業の研究者・研究管理者に質問し答えてもらうことで, あなたのキャリアパスを考えるランチョン(食事付き)形式の相談会です。例年, 就職活動について, 講師の方の仕事内容, 大学での研究がどのように活かされているか等, 幅広い話題を少人数でじっくりにお話ししてもらっています。参加者からは, 「親身に話を聞いてくれて, 話しやすかった。」「様々な企業・経歴を持った講師の方がいたので, 色々な話を聞けた。」「今後のキャリアを考える機会になった。」等の声をいただいております。

対象者: 大学生・大学院生でキャリアパスについて企業の研究者と相談したい方

プログラム

11:30- 開会挨拶(神奈川工科大学, 人材交流小委員会委員長) 高村 岳樹
11:35- 話題提供『企業が求める研究者とは?』(東レ経営研究所) 長瀬 公一
11:50- 企業研究者・研究管理者紹介
■企業研究管理者: 赤井 俊雄(三菱ケミカル), 高柳 大(味の素), 長瀬 公一(東レ経営研究所), 矢作 和行(花王)
■企業若手研究者: 稲垣 翔(DIC), 上友 淳弘(ダイセル), 齋藤 真一(BASF ジャパン), 高須 修平(ニコン)
■女性研究者・研究管理者: 奥山 泰世(出光興産), 櫻庭 彩子(花王), 吉岡 菜由(住友化学), 渡辺 訓江(プリヂストン)
12:00- グループに分かれて相談会(ランチョン形式での気軽な座談会です。企業研究者が親身になって, 皆様の質問にお答えします。)
13:00- 閉会挨拶(花王, 人材交流小委員会副委員長) 矢作 和行

参加費: 無料(年会登録者に限る)

申込方法: Web よりお申込み下さい。(先着 50 名)

席数に余裕がある場合には, 当日の朝 10 時より総合受付付近にて整理券を配布する予定です。

<https://event.csj.jp/form/view.php?id=430289>

問合先: 日本化学会 企画部 河瀬・矢部

電話(03)3292-6163

E-mail: sangaku@chemistry.or.jp



ケミカルレコード・レクチャー 2020

主催: 日本化学会・Wiley-VCH
日時: 3 月 24 日(火) 10 時 30 分~11 時 30 分
会場: S2 会場(講義棟 1 階 K103 教室)

日本の化学関係 8 学協会の雑誌として刊行した総合論文誌“The Chemical Record”は, 2011 年より日本化学会の雑誌としてリニューアルした。Wiley-VCH との本格的な提携によりインパクト・ファクターも着実に向上している。今回は Prof. Benjamin List(ドイツ マックス・プランク石炭研究所)を講師としてお招きし TCR Lecture を開催する。

プログラム

座長: 丸岡啓二 The Chemical Record 編集委員長

10:30- Very Strong and Confined Chiral Acids: Universal Catalysts for Asymmetric Synthesis?

(ドイツ マックス・プランク石炭研究所) Prof. Benjamin List

参加費: 無料

申込方法: 直接会場にお越し下さい

URL: <http://www.chemistry.or.jp/event/calendar/2020/01/2020.html>

問合先: 日本化学会 学術情報部 中村史夫

電話(03)3292-6165

E-mail: nakamura@chemistry.or.jp

論説フォーラム, 徹底討論, 「大学革命—今やらなければ—: 第2弾」

主催: 日本化学会 論説委員会
日時: 3月24日(火) 9時30分~12時30分
会場: S1 会場 (講義棟1階 K101 教室)

わが国の科学技術力, 論文の質・量の低下に歯止めがかからない。研究と人材育成の中核を担う大学は観念的な目標を述べる時期は過ぎた。大学人・研究者自らがアクションプランをたて、大学に革命を起こすべき時が到来していると認識すべきである。国・文科省からの要求ではなく、研究力の強化を大学が自力でできることはなにか、各大学が独自で改革できることはないのか、就活はこのままでよいのか、等を議論する場として、論説フォーラム徹底討論「大学革命—今やらなければ—: 第2弾」を開催する。講演者、パネラーには海外の大学経験の豊富な研究者、大学運営に携わる研究者、産業界の経営陣、経団連の代表者も交えて議論をする。本フォーラムは2テーマ構成(大学革命と就活革命)で進める。

プログラム ※予定

9:30- 挨拶 玉尾 皓平(豊田理研, 論説委員会委員長)
 9:35- セッション I : 大学の経営革命
 講演: 渡辺 芳人(名古屋大学審議役)
 司会: 山本 尚(中部大学・化学会前会長)
 パネルディスカッション
 パネラー: 射場 英紀(トヨタ自動車), 藤田 誠(東京大学), 上杉 志成(京都大学), 薦巢 守(大阪大学)
 11:00- セッション II : 大学院生の就活革命
 講演: 長谷川 知子(経団連 SDGs 本部本部長)
 司会: 菅 裕明(東京大学)
 パネルディスカッション
 パネラー: 若宮 淳志(京都大学), 阿部 竜(京都大学), 辻 良太郎(カネカ)

参加費: 無料
申込方法: 事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
 URL: <http://www.chemistry.or.jp/event/calendar/2020/01/post-432.html>
問合せ先: 日本化学会 学術情報部 中村史夫
 電話(03)3292-6165
 E-mail: nakamura@chemistry.or.jp

第2回 台湾化学会/日本化学会 国際シンポジウム —Catalyst for Energy Conversion & Storage—

主催: 日本化学会 国際交流委員会
日時: 3月24日(火) 13時30分~17時30分
場所: S1 会場 (講義棟1階 K101 教室)

本会は国際活動の一環として、2018年に台湾化学会(Cheical Society Located in Taipei; CSLT)と二学会間の交流覚書(MOU)を締結し、毎年交互に若手研究者を招聘して日台シンポジウムを開催することとしました。次世代を担う若手化学者による国際交流活性化と、トップレベルの化学者が深い議論を行うことを目的とし、今回は「Catalyst for Energy Conversion and Storage」をテーマに開催します。

プログラム

13:00- 冒頭挨拶(日本化学会常務理事)澤本 光男・
 (台湾化学会会長) Chain-Shu Hsu
 座長: 坂本 雅典(京大)

13:10- Metal-complex/Semiconductor Hybrid Photocatalysts and Photoelectrodes for Visible-light CO₂ Reduction (東工大) 前田 和彦
 13:45- Computational Modeling for CO₂ Electrochemical Reduction on Cu-based Materials (国立台湾師範大) Ming-Kang Tsai 座長: 前田 和彦(東工大)
 14:25- Development of Function-integrated Catalytic System for Small Molecule Conversion (阪大) 近藤 美欧
 15:00- Crystal Engineering of Bimetallic Nanoparticle for Energy Conversion Catalytic Applications (国立清華大) Yung-Tin Pan 座長: 近藤 美欧(阪大)
 15:40- Plasmonic p-n Junction for Infrared Light to Chemical Energy Conversion (京大) 坂本 雅典
 16:15- Bridging Energy and Chemistry via Nanoarchitectonic Engineering at Atomic Scale (中央研究院化学研) Chun-Hong Kuo
 16:50- 閉会挨拶(京大) 阿部 竜

参加費: 無料
申込方法: 事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先: 日本化学会 企画部 櫻田
 〒101-8307 千代田区神田駿河台1-5
 電話(03)3292-6163
 E-mail: sakurada@chemistry.or.jp

CSJ ジャーナルフォーラム 「研究成果を世界に魅せる」

主催: 日本化学会 ジャーナル戦略小委員会
日時: 3月24日(火) 13時30分~15時30分
会場: S2 会場 (講義棟1階 K103 教室)

日本化学会が刊行するジャーナル2誌 Bulletin of the Chemical Society of Japan (BCSJ) と Chemistry Letters (CL) は、2013年より科研費の補助を受け、国際的なビジビリティの向上のため様々な取り組みを行い、掲載論文の質の向上、インパクトファクターの向上などの成果を挙げている。本フォーラムでは、この2誌の取組みを紹介するとともに、「研究成果を世界に魅せる」ために、化学系論文に関する世界のトレンドと最新情報、論文執筆やプレゼン資料作成のポイント、論文英語の注意点など、研究者必須の情報を提供する。

プログラム

13:30- 開会あいさつ(早大, ジャーナル戦略小委員会委員長) 黒田 一幸
 13:35- CSJ ジャーナル「何が変わった? 何が変わる?」(東大, CL 編集委員長) 塩谷 光彦
 13:50- 研究成果を見せていますか? 魅せていますか?(クラリベイト・アナリティクス) 辻 幸子
 14:20- トップジャーナルへの道, すべて教えます(東大) 藤田 誠
 15:05- 論文執筆にあたり気を付けるべき英語のポイント(日化) ジェンセン・レイダー
 15:25- 閉会あいさつ(物材機構, BCSJ 編集委員長) 有賀 克彦

参加費: 無料
申込方法: 事前申込不要。直接会場にお越し下さい。
問合せ先: 日本化学会 学術情報部 中谷
 電話(03)3292-6165
 E-mail: nakaya@chemistry.or.jp

第20回シンポジウム 働き方改革時代における プロモーションとマネジメント

主催: 日本化学会 男女共同参画推進委員会
日時: 3月24日(火) 15時00分~17時10分

会場：S4 会場（講義棟 7 階 K701 教室）

男女共同参画推進委員会では、毎年男女共同参画シンポジウムを開催し、女性や若手の研究者・技術者の活躍増進、男女を問わず学生の進路選択や将来の活躍の支援を目指して、活動を行っている。第 100 回春季年会では、働き方改革といった新しい時代の変革に際して、キャリア形成の新しい動向や産業界・アカデミアの取り組みについて、お話をいただいた上で、講演会参加者も含めてディスカッションを行う。ディスカッションを通して、働き方改革時代の化学界、産業界、社会の在り方について、考えていく。

プログラム

座長：三浦 佳子（九大）・野々村 美宗（山形大）

15:00- 趣旨説明 挨拶（東北大）北川 尚美

15:05- 女性化学者奨励賞 受賞者紹介

15:15- 倦まず弛まず自然体で破天荒な開拓者として（室蘭工業大）高瀬 舞

15:35- 企業での働き方（旭化成）穂高 ゆき

15:55- アカデミアでの働き方改革の取り組み（北大）長堀 紀子

16:15- 企業における働き方改革（ポース化成工業）小林 和法

16:35- 全体ディスカッション

17:05- 閉会挨拶

17:30- 交流会

参加費：無料

申込方法：事前申込不要。直接会場にお越し下さい。

問合先：日本化学会 企画部 徳橋、竹内

電話(03)3292-6163

E-mail: danjo@chemistry.or.jp

第 100 春季年会プログラム [会場別]
アドバンスト・テクノロジー・プログラム(ATP)は P. 310 ~
アカデミックプログラム(AP)は 春季年会ウェブサイトにてご覧ください

付設展示会

3月22~24日

(10:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

元素川柳コンテスト

3月22~24日

(10:00~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

ATP 交流会

3月22日午後

(17:40~19:10)

詳細は別掲ページをご覧ください。

実験教室～不思議なカラーマジック！～

3月22日

(10:00~15:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第 100 春季年会 懇親会

3月23日午後

(18:00~20:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

Chem-Station イブニングミキサー

3月24日午後

(18:00~19:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S1 会場

講義棟 K101

論説フォーラム, 徹底討論, 「大学革命—今やらなければ—第2弾」

3月24日午前

(9:30~12:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第2回 台湾化学会/日本化学会 国際シンポジウム
—Catalyst for Energy Conversion & Storage—

3月24日午後

(13:30~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S2 会場

講義棟 K103

超分子化学アジア会議

3月22日

(9:30~16:30)

3月23日

(9:00~17:05)

詳細は別掲ページをご覧ください。

ケミカルレコード・レクチャー 2020

3月24日午前

(10:30~11:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

CSJ ジャーナルフォーラム「研究成果を世界に魅せる」

3月24日午後

(13:30~15:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S3 会場

講義棟 K601

大学生・大学院生のためのキャリアパスを考える相談会(ランチョンセミナー)～企業で研究者になるために必要なことは?今の研究をどう活かす?～

3月23日

(11:30~13:05)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S4 会場

講義棟 K701

ナノ空間を反応場・デバイスとして活用する物質科学

3月23日午後

(13:30~16:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

Reaxys Prize Club シンポジウム in Japan 2020

3月24日午前

(9:30~12:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

第 20 回シンポジウム 働き方改革時代におけるブ ロモーションとマネジメント

3月24日午後

(15:00~17:10)

詳細は別掲ページをご覧ください。

S5 会場 講義棟 K702

化学者のための放射光ことはじめ—小角 X 線散乱 による構造解析の基礎と応用

3月22日午前

(9:30~9:35)

1S5-01 特別企画講演 趣意説明 (京大化研) ○高谷 光 (09:30~09:35)

座長 高谷 光 (9:35~10:35)

1S5-02 特別企画講演 放射光小角 X 線散乱—構造解析のための基礎理論 (京大化研) ○竹中幹人 (09:35~10:05)

1S5-03 特別企画講演 放射光小角 X 線構造解析-測定手法とその実例 (JASRI) ○増永啓康 (10:05~10:35)

座長 本間 徹生 (10:35~12:25)

1S5-04 特別企画講演 小角 X 線散乱による超分子集合体の構造解析 (京大院工) ○西村智貴 (10:35~11:05)

1S5-05 特別企画講演 小角および超小角 X 線散乱で何がわかるのか? -高分子材料を中心に (九大先導研・九大 WPI-I²CNER) ○小椎尾謙 (11:05~11:30)

1S5-06 特別企画講演 古くて新しい素材ベンベルグの構造解析 (旭化成) ○坂本直紀・山縣麻衣子・廣澤 和・岩間立洋 (11:30~11:55)

1S5-07 特別企画講演 バイオマス由来プラスチック研究における広角および小角 X 線散乱測定の使いどころ (JASRI) ○加部泰三 (11:55~12:25)

(12:25~12:30)

1S5-08 特別企画講演 総評 (京大化研) ○竹中幹人 (12:25~12:30)

第 27 回化学教育フォーラム「観察, 実験を位置 づけた授業実践ができる教員の育成」

3月22日午後

(13:30~17:05)

詳細は別掲ページをご覧ください。

外国人の特別講演

3月23日午前

座長 依光 英樹 (9:30~10:20)

2S5-01 Special Lecture Applications of Main Group Heterobimetallics: Catalysis and Templated Metallation (Univ. of Strathclyde; Univ. de Huelva; Univ. Bern) ○O'HARA, Charles; Martínez-Martínez, Antonio J.; Bruña, Sonia; Fairley, Michael; Hevia, Eva; Kennedy, Alan R. (09:30~10:20)

座長 村上 正浩 (11:30~12:20)

2S5-02 Special Lecture Stereoselective Synthesis *via* Reactive Metal Carbene and Oxonium Ylide Intermediates (Univ. of Geneva) ○LACOUR, Jerome (11:30~12:20)

高度細胞機能を解析する分子動態計測と情報科学 との融合

3月23日午後

(13:30~13:45)

2S5-03 中長期企画講演 趣意説明 (首都大院理) ○伊藤 隆 (13:30~13:45)

座長 民谷 栄一 (13:45~15:15)

2S5-04 中長期企画講演 質量分析と統計解析の融合による次世代プロテオミクス (京大院薬) ○石濱 泰 (13:45~14:15)

2S5-05 中長期企画講演 生細胞内のタンパク質立体構造解析 (首都大院工・ゲーテ大・ETH) ○池谷鉄兵・田中 孝・立石 泰・岡田真由・Peter Güntert・伊藤 隆 (14:15~14:45)

2S5-06 中長期企画講演 細胞内自己組織化現象の 1 分子計測に基づ

く 1 分子粒度シミュレーション (阪大院生命機能・JST さきがけ・理研 BDR) ○松岡里実・上田昌宏 (14:45~15:15)

座長 伊藤 隆 (15:30~16:30)

2S5-07 中長期企画講演 ラマン分光スパース解析による生細胞の包括的分子イメージング (早大ナノ・ライフ創新研究機構・JST さきがけ) ○安藤正浩 (15:30~16:00)

2S5-08 中長期企画講演 高速 AFM1 分子計測データ同化と生体分子 4 次元構造解析 (京大院理) ○高田彰二 (16:00~16:30)

(16:30~16:35)

2S5-09 中長期企画講演 総括 (阪大院工) ○民谷栄一 (16:30~16:35)

革新的触媒の創製：電気・光などを用いた触媒反応

3月24日午後

座長 北川 宏 (13:30~15:30)

3S5-01 中長期企画講演 太陽光水素製造実現のための可視光応答型光触媒設計 (京大院工) ○阿部 竜 (13:30~14:00)

3S5-02 中長期企画講演 気体分子転換のための光電気化学反応場の設計 (北九大国際環境工・JST さきがけ) ○天野史章 (14:00~14:30)

3S5-03 中長期企画講演 不均一系触媒によるレドックス反応の理論計算解析 (物材機構 GREEN・京大 ESICB) ○館山佳尚 (14:30~15:00)

3S5-04 中長期企画講演 表面プロトニクスが生み出す低温触媒反応 (早大理工) ○関根 泰 (15:00~15:30)

座長 野崎 京子 (15:30~17:30)

3S5-05 中長期企画講演 マイクロ波で制御する固体反応場 (東工大物質理工) ○和田雄二 (15:30~16:00)

3S5-06 中長期企画講演 非平衡プラズマが拓く電子駆動触媒反応 (東工大工) ○野崎智洋 (16:00~16:30)

3S5-07 中長期企画講演 マイクロフロー電解セルを用いた触媒的反應の開発 (岡山大院自然) ○菅 誠治 (16:30~17:00)

3S5-08 中長期企画講演 天然光合成における光誘導水分解触媒の反応機構 (岡山大 RIIS) ○沈 建仁 (17:00~17:30)

ジャイロイドの物質科学

3月25日午前

座長 西原 洋知 (9:30~11:00)

4S5-01 Special Program Lecture Geometry in Soft Mater Gyroid: From a Numerical Study Viewpoint (Fac. Sci. Eng., Kindai Univ.) ○DOTERA, Tomonari (09:30~10:00)

4S5-02 Special Program Lecture Molecular Spin Gyroids Formed with Polyhedral π Conjugated Molecules (Grad. Sch. Sci., Nagoya Univ.) ○SHUKU, Yoshiaki; MIZUNO, Asato; AWAGA, Kunio (10:00~10:30)

4S5-03 Special Program Lecture Supramolecular Structures with Metal-Oxalate Framework for Molecular Electronic Materials based on Gyroids (RIES, Hokkaido Univ.) ○NAKAMURA, Takayoshi (10:30~11:00)

座長 中村 貴義 (11:00~12:30)

4S5-04 Special Program Lecture Nanoporous frameworks with single-layer graphene walls towards gyroid graphenes (IMRAM, Tohoku Univ.) ○NISHIHARA, Hirotomo (11:00~11:30)

4S5-05 Special Program Lecture Design of Functional Gyroid Surface through Self-organization of Liquid-crystalline Amphiphiles (Grad. Sch. Fac. Eng., Tokyo Univ. of Agri. and Technol.) ○ICHIKAWA, Takahiro (11:30~12:00)

4S5-06 Special Program Lecture Construction of Huge Double Gyroid Network Structure by Block Copolymers (Grad. Sch. Eng., Nagoya Univ.) ○TAKANO, Atsushi (12:00~12:30)

S6 会場 講義棟 K703

質量分析が拓く次世代の革新的医療技術

3月22日午前

(9:30~9:35)

1S6-01 特別企画講演 趣旨説明 (東京医保大) ○松村有里子 (09:30~09:35)

座長 松村 有里子 (9:35~10:00)

1S6-02 特別企画講演 画像技術と分析技術を融合したアドバンスド・ヘルスケアへの取り組みについて (島津製作所) ○山口 亮

(09:35～10:00)

座長 大倉 一郎 (10:00～11:00)

1S6-03 特別企画講演 機能性農産品の成分分析への取り組み (農研機構・島津製作所) ○折戸文夫・山本 (前田) 万里・堅田一哉 (10:00～10:30)

1S6-04 特別企画講演 バイオマーカー探索に資するメソッド・ツールの開発とその応用 (阪大院工・島津製作所) ○飯田順子 (10:30～11:00)

座長 大塚 論 (11:00～12:30)

1S6-05 特別企画講演 MALDI-TOF MSによる血液アミロイドβの高感度検出 (島津製作所) ○岩本慎一 (11:00～11:30)

1S6-06 特別企画講演 質量分析技術の再生医療・細胞治療分野への応用 (島津製作所) ○江連 徹 (11:30～12:00)

1S6-07 特別企画講演 質量分析を用いたアレルギー診断マーカーの探索 (東大院農) ○村田幸久 (12:00～12:30)

第14回化学遺産市民公開講座

3月22日午後

(13:30～17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

生命科学における分子化学のプレゼンス

3月23日午前

(9:00～9:05)

2S6-01 中長期企画講演 趣旨説明 (東北大院生命科学) ○有本博一 (09:00～09:05)

座長 有本 博一 (9:05～10:55)

2S6-02 中長期企画講演 タンパク質間相互作用を誘導する天然物の新展開 (名大院生命農) ○北 将樹 (09:05～09:30)

2S6-03 中長期企画講演 細胞のバリアを攻略する海洋天然物の探索 (北大院水産科学) ○酒井隆一 (09:30～09:55)

2S6-04 中長期企画講演 ユビキチン研究の新展開: ケミカルバイオロジーとの融合から相分離まで (都医学研) ○佐伯 泰 (09:55～10:30)

2S6-05 中長期企画講演 SNIPER 化合物によるケミカルプロテインノックダウン技術の開発と細胞制御 (国立衛研) ○内藤幹彦 (10:30～10:55)

座長 北 将樹 (10:55～11:55)

2S6-06 中長期企画講演 オートファジーに基づく標的選択的分解技術: AUTAC (東北大院生命科学) ○有本博一 (10:55～11:20)

2S6-07 中長期企画講演 相分離生物学の技術 (筑波大数理) ○白木賢太郎 (11:20～11:55)

(11:55～12:00)

2S6-08 中長期企画講演 終わりに (名大院生命農) ○北 将樹 (11:55～12:00)

(JST) CREST「超空間制御」研究成果報告会

3月23日午後

(13:30～15:45)

詳細は別掲ページをご覧ください。

ハイドロジェノミクス: 高次水素機能による革新的材料・デバイス・反応プロセスの創成

3月24日午後

(13:30～16:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

ルミネッセンス化学アンサンブル: 激論! 固体発光の謎: 分子設計・合成・計測の立場から

3月25日午前

(9:30～9:35)

4S6-01 特別企画講演 Opening Remarks (信州大教育) ○伊藤冬樹 (09:30～09:35)

座長 小西 玄一 (9:35～11:00)

4S6-02 特別企画講演 分子間相互作用および分子軌道の制御に基づく高発光性分子の設計 (京大化研) ○廣瀬崇至 (09:35～09:50)

4S6-03 特別企画講演 キラルなエキシマーモデル分子系を用いた円偏光発光機構の理解 (東北大多元研) ○荒木保幸 (09:50～10:05)

4S6-04 特別企画講演 アモルファス分子材料の設計と発光挙動 (室

工大) ○中野英之 (10:05～10:20)

4S6-05 特別企画講演 高純度有機結晶における分子凝集による蛍光挙動の変化 (日大工) ○加藤隆二 (10:20～10:35)

4S6-06 特別企画講演 凝集体モデルからアモルファスへ (信州大教育) ○伊藤冬樹 (10:35～11:00)

座長 池田 浩 (11:00～12:25)

4S6-07 特別企画講演 メカノクロミック発光性有機結晶の設計と分子間相互作用 (横国大院工) ○伊藤 傑 (11:00～11:15)

4S6-08 特別企画講演 刺激応答構造変化の1粒子発光観測 (神戸大分子フォトセ) ○立川貴士 (11:15～11:30)

4S6-09 特別企画講演 刺激応答性を示す固体発光材料の構造と分子間相互作用の相関 (北大工) ○関 朋宏 (11:30～11:45)

4S6-10 特別企画講演 発光性有機結晶の時間分解顕微分光計測 (愛媛大院理工) ○石橋千英 (11:45～12:00)

4S6-11 特別企画講演 結晶の集積構造変化 (メカノクロミックの関与) について (東大生研) ○務台俊樹 (12:00～12:25)

(12:25～12:30)

4S6-12 特別企画講演 Closing Remarks (信州大教育) ○伊藤冬樹 (12:25～12:30)

マイクロ波加熱と化学プロセス

3月25日午後

(13:35～13:45)

4S6-13 特別企画講演 企画の趣旨説明 (東工大物質理工) ○和田雄二 (13:35～13:45)

座長 間瀬 暢之 (13:45～14:45)

4S6-14 特別企画講演 マイクロ波加熱による飛灰焼結プロセス (中国高圧コンクリート工業) ○田中 等・樫村京一郎 (13:45～14:05)

4S6-15 特別企画講演 自動車へのマイクロ波加熱利用 (豊田中研) ○福島英沖 (14:05～14:25)

4S6-16 特別企画講演 マイクロ波化学の理論 (産総研) ○杉山順一 (14:25～14:45)

座長 山田 陽一 (15:05～16:25)

4S6-17 特別企画講演 マイクロ波有機合成の学理解明はどこまで進んだのか (京大化研・分子研) ○高谷 光 (15:05～15:25)

4S6-18 特別企画講演 電磁波照射反応場のその場観察 (東工大物質理工) ○椿 俊太郎 (15:25～15:45)

4S6-19 特別企画講演 マイクロ波加熱と化学熱力学 (中部大工) ○樫村京一郎 (15:45～16:05)

4S6-20 特別企画講演 マイクロ波媒介連続フロー式脱水素酸化反応 (岐阜卓大) ○佐治木弘尚 (16:05～16:25)

S7 会場

講義棟 K704

細胞分析の新展開

3月22日午前

(9:30～9:35)

1S7-01 特別企画講演 趣意説明 (群馬大院理工) ○佐藤記一 (09:30～09:35)

座長 佐藤 記一 (9:35～10:50)

1S7-02 特別企画講演 生命現象の光操作技術の創出 (東大院総合) ○佐藤守俊 (09:35～10:00)

1S7-03 特別企画講演 電気化学デバイスを用いた3次元培養細胞の評価とバイオファブリケーション (東北大院工) ○伊野浩介 (10:00～10:25)

1S7-04 特別企画講演 光応答性細胞固定化剤の設計と創出 (東大先端研セ・JST さきがけ) ○山口哲志 (10:25～10:50)

座長 佐藤 香枝 (11:00～12:25)

1S7-05 特別企画講演 立体培養法による組織微小環境モデルの開発および疾患研究への応用 (岡山大院医歯薬・岡大院ヘルスシステム) ○田中啓祥・狩野光伸 (11:00～11:25)

1S7-06 特別企画講演 ボディー・オン・チップに搭載可能な新規細胞アッセイ法の開発 (京大 iCeMS) ○亀井謙一郎 (11:25～11:50)

1S7-07 特別企画講演 圧力駆動型 Microphysiological systems の開発 (産総研創薬基盤) ○杉浦慎治 (11:50～12:15)

1S7-08 特別企画講演 バイオ市場から見た細胞解析用マイクロfluidics製品 (マイクロ化学技研) ○田澤英克 (12:15～12:25)

(12:25～12:30)

1S7-09 特別企画講演 まとめ (日女大理) ○佐藤香枝 (12:25～

12:30)

エネルギーデバイスの新潮流をつくるサステイナブル・機能レドックス化学

3月22日午後

(13:30～13:35)

1S7-10 特別企画講演 趣旨説明（鳥取大院工）○野上敏材（13:30～13:35）

座長 鳥越 恒（13:35～14:00）

1S7-11 特別企画講演 固体高分子型燃料電池の高活性化を実現する触媒界面デザイン（九大院工・九大 CMS・九大 ICNER）○藤ヶ谷剛彦（13:35～14:00）

座長 稲木 信介（14:00～14:25）

1S7-12 特別企画講演 生物機能を活用したエネルギーデバイスの開発（筑波大数理）○辻村清也（14:00～14:25）

座長 野上 敏材（14:25～14:50）

1S7-13 特別企画講演 ナトリウムイオン電池のためのルチル型酸化チタン負極の創製（鳥取大院工・鳥取大 GSC 研セ）○薄井洋行（14:25～14:50）

座長 雨夜 徹（15:00～15:25）

1S7-14 特別企画講演 有機レドックス化学に基づく二次電池の開発（阪大院基礎工）○清水章弘（15:00～15:25）

座長 光藤 耕一（15:25～15:50）

1S7-15 特別企画講演 分子および分子集積体の蓄電機能開拓（関西学院大理工）○吉川浩史（15:25～15:50）

座長 稲富 友（15:50～16:25）

1S7-16 特別企画講演 イオン液体系電解質を用いた次世代リチウム硫黄電池（横国大院工）○渡邊正義（15:50～16:25）

(16:25～16:30)

1S7-17 特別企画講演 閉会挨拶（パナソニック）○稲富 友（16:25～16:30）

新学術領域研究『発動分子科学』報告会 ～化学者と物理系および生物系研究者がコラボレーションする発動分子～

3月23日午前

(9:30～12:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

ナノシート：2次元構造を有する金属錯体の科学

3月23日午後

座長 張 浩徹（13:30～15:20）

2S7-01 中長期企画講演 酸化グラフェンハイブリッドの機能創発（熊本大院先端科学・熊本大パルス）○速水真也（13:30～14:00）

2S7-02 中長期企画講演 原子層ヘテロ構造の光電子デバイス（シンガポール国立大）○江田剛輝（14:00～14:40）

2S7-03 中長期企画講演 二次元ヘテロ構造の創出と物性探索（名大院理）○北浦 良（14:40～15:20）

座長 宮坂 等（15:30～17:30）

2S7-04 中長期企画講演 2次元酸化物が拓くポストグラフェン技術（名大 IMaSS・物材機構 MANA）○長田 実（15:30～16:10）

2S7-05 中長期企画講演 多孔性金属錯体ナノシートの気液界面合成：モルフォロジー制御と機能創出（阪府大院工）○牧浦理恵（16:10～16:50）

2S7-06 中長期企画講演 グラフェンナノリボンのボトムアップ合成：前駆体設計と構造制御（マックス・プランク高分子研・沖縄科技大）○成田明光（16:50～17:30）

TIA 連携プログラム探索事業「かけはし」量子反応シンポジウム

3月24日午前

(9:30～12:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

次世代分子システムが拓く未来の化学

3月24日午後

(13:30～13:40)

3S7-01 中長期企画講演 趣旨説明：次世代分子システムが拓く未来の化学（東北大多元研・東工大化生研・東工大生命理工・京大理）○高橋 聡・吉沢道人・北尾彰朗・林 重彦（13:30～13:40）

座長 北尾 彰朗（13:40～14:30）

3S7-02 中長期企画講演 機能性タンパク質システムの理論的デザインに向けて（東大院総合・東大院理）○新井宗仁（13:40～14:05）

3S7-03 中長期企画講演 第一原理計算と反応速度論による不均一系触媒反応の活性予測（物材機構 GREEN・JST さきがけ・京大 ESICB）○石川敦之（14:05～14:30）

座長 吉沢 道人（14:40～15:55）

3S7-04 中長期企画講演 生物から学ぶ新規機能性物質の設計指針：不均一媒質が生み出す多機能性の理解に向けて（東北大院理）○近藤 徹（14:40～15:05）

3S7-05 中長期企画講演 機能性 π 共役系分子・高分子のデザインと集合体構築（物材機構 RCFM）○竹内正之（15:05～15:30）

3S7-06 中長期企画講演 下部臨界温度現象における高分子と水の相互作用（信州大繊維）○望月建爾（15:30～15:55）

座長 高橋 聡（16:05～17:20）

3S7-07 中長期企画講演 最小構成分子システムによる細胞運動・分裂機能の再構成（京大白眉・京大院理・キューリー研）○宮崎牧人（16:05～16:30）

3S7-08 中長期企画講演 エントロピー誘起の自己組織化ソフトマテリアル（慶大理工）○浅井 誠（16:30～16:55）

3S7-09 中長期企画講演 刺激応答性ナノカプセルの開発（東工大化生研）○吉沢道人（16:55～17:20）

(17:20～17:30)

3S7-10 中長期企画講演 総合討論（東工大生命理工）○北尾彰朗（17:20～17:30）

ナノ構造・物性解析技術の最前線

3月25日午前

(9:30～9:35)

4S7-01 特別企画講演 企画趣旨説明（物材機構 MANA）○井出裕介（09:30～09:35）

座長 鈴木 康孝（9:35～11:00）

4S7-02 特別企画講演 粉末試料の「指紋」をとる-金属酸化物の電子トラップ密度解析（北大触媒科学研）○大谷文章（09:35～10:05）

4S7-03 特別企画講演 埋もれた超薄膜界面の X 線可視化（物材機構 AMCP）○桜井健次（10:05～10:35）

4S7-04 特別企画講演 走査トンネル顕微鏡を用いた単一分子の近接場分光（理研 CPR・JST さきがけ）○今田 裕（10:35～11:00）

座長 藤村 卓也（11:05～12:30）

4S7-05 特別企画講演 メソポーラス薄膜の構造解析（キヤノン R&D 本部）○宮田浩克・黒田一幸（11:05～11:35）

4S7-06 特別企画講演 X 線二体分布関数を用いたナノ材料の構造解析（物材機構 MANA）○富中悟史（11:35～12:00）

4S7-07 特別企画講演 層状珪酸塩の積層構造を見る（東大院理）○小暮敏博（12:00～12:30）

精密に制御されたキラル空間に基づくキロプティカル特性：産業への移行を見据えた先端学理

3月25日午後

(13:30～13:35)

4S7-08 特別企画講演 趣意説明（首都大理）○杉浦健一（13:30～13:35）

座長 西川 浩之（13:35～15:15）

4S7-09 特別企画講演 蛍光分子をらせん配置したオリゴナフタレン類の合成と機能（京府大院生命環境）○椿 一典（13:35～14:00）

4S7-10 特別企画講演 D_2 の点群を有する光学活性分子の合成とキロプティカル特性（首都大理）○杉浦健一（14:00～14:15）

4S7-11 特別企画講演 外部摂動応答性キラル液晶場でのヘリカル共役ポリマーの合成と円偏光発光特性（立命館大総合科学技術）○赤木和夫（14:15～14:45）

4S7-12 特別企画講演 面性不斉[2.2]パラシクロファンが創る光学活性二次構造とキロプティカル特性（関西学院大理工）○森崎泰弘（14:45～15:15）

座長 長谷川 真士 (15:15~16:30)
4S7-13 特別企画講演 固体発光体からの円偏光発光(CPL)および磁気円偏光発光(MCPL) (近畿大理工) ○今井喜胤 (15:15~15:30)
4S7-14 特別企画講演 CD/CPL のための新たな測定法の提案 (日本分光) ○近藤吉朗 (15:30~16:00)
4S7-15 特別企画講演 高分子主鎖のらせん反転に基づいた円偏光発光のキラリティスイッチング (京大院工) ○長田裕也 (16:00~16:30)

S8 会場

講義棟 K705

分子空間を活用した精密有機合成と機能創製

3月22日午前

(9:30~9:35)

1S8-01 特別企画講演 趣旨説明 (理研袖岡有機合成研) ○五月女宜裕 (09:30~09:35)

座長 村瀬 隆史 (9:35~11:15)

1S8-02 特別企画講演 ペプチド環状錯体による柔軟なナノ空間創製と機能連動場への展開 (お茶大基幹研) ○三宅亮介 (09:35~10:05)

1S8-03 特別企画講演 超分子ポリマーで造る未踏ナノ構造 (千葉大IGPR・千葉大院工) ○矢貝史樹 (10:05~10:40)

1S8-04 特別企画講演 有機イオン対の触媒化学 (名大院工) ○浦口大輔 (10:40~11:15)

座長 五月女 宜裕 (11:25~12:30)

1S8-05 特別企画講演 弱い分子間相互作用に基づいたアキラルらせん高分子の高効率不斉誘起 (京大院工) ○長田裕也 (11:25~11:55)

1S8-06 特別企画講演 タンパク質マトリクスが形成する分子空間を反応場にした人工生体金属触媒の創製 (阪大院工) ○林 高史 (11:55~12:30)

化学と情報科学との融合

3月22日午後

(13:30~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

JST さきがけ「1細胞解析」領域、第6回成果報告会-3 期生 (平成28年度採択)

3月23日

(9:30~15:10)

詳細は別掲ページをご覧ください。

変化する化学研究手法に合わせたキャリアを考える

3月24日午前

(11:30~13:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

化学から見たレチナル蛋白質の魅力

3月25日午前

(9:30~9:40)

4S8-01 特別企画講演 化学から見たレチナル蛋白質の魅力、はじめに (名工大院工) ○神取秀樹 (09:30~09:40)

座長 井上 圭一 (9:40~10:10)

4S8-02 特別企画講演 物理化学から見たレチナル蛋白質の魅力 (理研田原分子分光研) ○田原太平 (09:40~10:10)

座長 古谷 祐詞 (10:10~10:40)

4S8-03 特別企画講演 バクテリオロドプシンの分子動画 (京大院医・理研) ○岩田 想 (10:10~10:40)

座長 八木 清 (10:40~11:10)

4S8-04 特別企画講演 理論化学から見たレチナル蛋白質の魅力 (早大先進理工・早大理工総研・京大ESICB) ○中井浩己 (10:40~11:10)

座長 須原 義智 (11:20~11:50)

4S8-05 特別企画講演 有機化学から見たレチナル蛋白質の魅力 (神戸薬大薬) ○和田昭盛 (11:20~11:50)

座長 片山 耕大 (11:50~12:20)

4S8-06 特別企画講演 NMRによるGPCRの機能発現に係るダイナミクス (東大院薬) ○嶋田一夫 (11:50~12:20)

(12:20~12:30)

4S8-07 特別企画講演 化学から見たレチナル蛋白質の魅力、おわりに (名工大院工) ○神取秀樹 (12:20~12:30)

SDGsに資する機能性色素材料の創製

3月25日午後

(13:30~13:35)

4S8-08 特別企画講演 趣旨説明 (阪府大院工) ○八木繁幸 (13:30~13:35)

座長 大山 陽介 (13:35~14:25)

4S8-09 特別企画講演 光駆動水素製造の高効率化に資する可視光・近赤外線吸収色素の合成 (首都大院都市環境・首都大水素エネルギー社会構築研セ) ○久保由治 (13:35~14:00)

4S8-10 特別企画講演 解析と計算化学を活用した機能性色素の開発 (コニカミノルタ) ○北 弘志 (14:00~14:25)

座長 林 宏暢 (14:25~15:15)

4S8-11 特別企画講演 近赤外色素を用いる光および光音響腫瘍イメージング (京大院工) ○三木康嗣 (14:25~14:50)

4S8-12 特別企画講演 新規色素骨格の合成法が拓く多機能性色素材料 (阪大院工) ○武田洋平 (14:50~15:15)

座長 清水 宗治 (15:15~16:20)

4S8-13 特別企画講演 企業研究者から見た機能性色素材料への期待 (三菱ケミカル) ○石田美織 (15:15~15:40)

4S8-14 特別企画講演 ドナー・アクセプター相互作用を利用したエネルギー・生物学的応用 (京大院工・京大iCeMS) ○今堀 博 (15:40~16:20)

(16:20~16:25)

4S8-15 特別企画講演 総括 (三菱ケミカル) ○秋山誠治 (16:20~16:25)

S9 会場

7号館 講堂

学会賞

3月22日午前

座長 大熊 毅 (10:30~11:30)

1S9-01 CSJ Award Presentation Development of New Synthetic Reactions Directing Towards Sustainability (Grad. Sch. Eng., Kyoto Univ.) ○MURAKAMI, Masahiro (10:30~11:30)

3月22日午後

座長 渡辺 芳人 (14:30~15:30)

1S9-02 CSJ Award Presentation Nano-Science of Advanced Metal Complexes Based on Nonlinearity and Quantum Effect: Who is the greatest among Nomo, Ichiro and Ohtani? (AIMR, Tohoku Univ.) ○YAMASHITA, Masahiro (14:30~15:30)

表彰式/第100春季年会 特別記念講演会

3月23日午後

(14:00~16:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

学会賞

3月24日午前

座長 片山 佳樹 (10:30~11:30)

3S9-01 CSJ Award Presentation Creative Science for Array, Space, and Motion based on the Precise Design of Supramolecular Metal Complexes (Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo) ○SHIONOYA, Mitsuhiro (10:30~11:30)

3月24日午後

座長 丸岡 啓二 (14:30~15:30)

3S9-02 CSJ Award Presentation Development of Methods for Mole-

cular Construction through Direct C-H Bond Transformation (Grad. Sch. Eng., Osaka Univ.) ○MIURA, Masahiro (14:30~15:30)

3月25日午前

座長 野村 琴広 (10:30~11:30)

4S9-01 CSJ Award Presentation Activation of Polar Small Molecules and Synthesis of Their Polymers based on Rational Design of Catalyst (Grad. Sch. Eng., The Univ. of Tokyo) ○NOZAKI, Kyoko (10:30~11:30)

SA 会場

12号館 1211 教室

自然から学ぶ最先端生命化学 —中西香爾先生が生命化学に遺したもの—

3月22日午前

(9:30~9:40)

1SA-01 Special Program Lecture Explanation of purpose (Grad. Fac. Life Sci., Hokkaido Univ.) ○MONDE, Kenji; KOSHOUBU, Jun (09:30~09:40)

座長 楠見 武徳 (9:40~10:05)

1SA-02 Special Program Lecture Structures and functions of natural product-type biomolecules (Grad. Sch. Sci., Osaka Univ.) ○MURATA, Mihcio (09:40~10:05)

座長 原田 宣之 (10:05~10:30)

1SA-03 Special Program Lecture Conformation and Configuration Studies of Bio-Molecules, -Exciton Chirality Method- (Grad. Fac. Life Sci., Hokkaido Univ.) ○MONDE, Kenji (10:05~10:30)

座長 西川 俊夫 (10:30~10:55)

1SA-04 Special Program Lecture Phytochemical natural products chemistry (Grad. Sch. Sci., Tohoku Univ.; Grad. Sch. Life Sci., Tohoku Univ.) ○UEDA, Minoru (10:30~10:55)

座長 河岸 洋和 (10:55~11:20)

1SA-05 Special Program Lecture Wasp Venoms, Ecological Chemistry of Insects (Fac. Sci., Kanagawa Univ.) ○UEMURA, Daisuke (10:55~11:20)

座長 島本 啓子 (11:30~11:55)

1SA-06 Special Program Lecture Chemistry of Receptor-Lipid Ligands for Understanding of Immune System (Fac. Sci. Tech., Keio Univ.) ○FUJIMOTO, Yukari (11:30~11:55)

座長 小鹿 一 (11:55~12:30)

1SA-07 Special Program Lecture Therapeutic In Vivo Synthetic Chemistry: Acrolein-Based Cancer Diagnosis and Therapy (Sch. Mater. & Chem. Tech., Tokyo Tech.; RIKEN CPR) ○TANAKA, Katsunori (11:55~12:20)

天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム 2020

3月22日午後

(13:30~17:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

学会賞

3月23日午前

座長 杉山 弘 (10:30~11:30)

2SA-01 CSJ Award Presentation Chemistry of non-double helix nucleic acids in molecular crowding environments (FIBER, Konan Univ.; FIRST, Konan Univ.) ○SUGIMOTO, Naoki (10:30~11:30)

人工光合成：どの反応を狙うか？

3月23日午後

(13:30~13:35)

2SA-02 中長期企画講演 Opening Remarks (京大院工) ○阿部 竜 (13:30~13:35)

座長 阿部 竜 (13:35~14:35)

2SA-03 中長期企画講演 低濃度二酸化炭素の直接資源化 (東工大

理) ○石谷 治 (13:35~14:05)

2SA-04 中長期企画講演 過電圧ゼロを目指した二酸化炭素からの電気化学的ギ酸生成 (豊田中研) ○佐藤俊介・荒井健男・関澤圭太・森川健志 (14:05~14:35)

座長 井上 晴夫 (14:50~15:50)

2SA-05 中長期企画講演 半導体光触媒を用いた水分分解と二酸化炭素還元 (東理大理) ○工藤昭彦 (14:50~15:20)

2SA-06 中長期企画講演 局在プラズモンを利用する可視光アンモニア合成 (北大電子研・台湾国立交通大) ○三澤弘明 (15:20~15:50)

座長 工藤 昭彦 (16:05~17:05)

2SA-07 中長期企画講演 分子触媒による水の2電子酸化：過酸化水素の生成 (首都大院都市環境) Fazalurhaman Kuttassery・Siby Mathew・立花 宏○井上晴夫 (16:05~16:35)

2SA-08 中長期企画講演 人工光合成から実用化を目指した Power-to-X'へ (産総研) ○佐山和弘 (16:35~17:05)

(17:05~17:10)

2SA-09 中長期企画講演 Closing Remarks (京大院工) ○阿部 竜 (17:05~17:10)

SB 会場

13号館 1311 教室

分子のレジデンスを考える —新しい機能分子設計の鍵として—

3月22日午前

(9:30~9:35)

1SB-01 特別企画講演 趣意説明 (北大院薬) ○市川 聡 (09:30~09:35)

座長 高山 正己 (9:35~10:05)

1SB-02 特別企画講演 レジデンスを意識した天然物創薬 (北大院薬) ○市川 聡 (09:35~10:05)

座長 有澤 光弘 (10:05~11:05)

1SB-03 特別企画講演 三次元多様性を鍵概念とするペプチドミメティクスの創出 (北大院薬) ○周東 智 (10:05~10:35)

1SB-04 特別企画講演 新しい機能分子設計を目指した分子シミュレーション手法の開発 (筑波大計算科学研セ) ○原田隆平 (10:35~11:05)

座長 市川 聡 (11:05~12:05)

1SB-05 特別企画講演 プリンスクレオシドの吸収抑制を作用機序とする高尿酸血症治療薬の創製研究 (キッセイ薬品工業・北大院薬) ○田谷和也・平橋正博・倉持 有・野中義功・鎌田 昇・渡邊信次郎・伊東史顕・伊佐治正幸・周東 智 (11:05~11:35)

1SB-06 特別企画講演 創薬プラットフォームとしての核酸医薬 (塩野義製薬) ○釘宮 啓 (11:35~12:05)

(12:05~12:10)

1SB-07 特別企画講演 総括 (塩野義製薬) ○高山正己 (12:05~12:10)

市民公開講座 夢をかなえる科学

3月22日午後

(13:25~17:00)

詳細は別掲ページをご覧ください。

座長 藤本 ゆかり (13:30~14:20)

1SB-08 市民公開講座 新たな魔球は創りだせるか (理研) ○姫野龍太郎 (13:30~14:20)

座長 布施 新一郎 (14:20~15:10)

1SB-09 市民公開講座 枯山水とヒトゲノム ~余白領域への科学~ (東工大生命理工) ○相澤康則 (14:20~15:10)

座長 山口 潤一郎 (15:20~16:10)

1SB-10 市民公開講座 スーパー分子をつくる (名大 WPI-ITbM) ○伊丹健一郎 (15:20~16:10)

座長 佐藤 守俊 (16:10~17:00)

1SB-11 市民公開講座 睡眠覚醒の謎に挑む (筑波大 IIIS) ○柳沢正史 (16:10~17:00)

ノーベル化学賞受賞記念講演会

3月24日午後

(15:25~16:30)

詳細は別掲ページをご覧ください。

座長 井手本 康 (15:30~16:30)

3SB-01 リチウムイオン電池が拓く未来社会 (旭化成) ○吉野 彰
(15:30~16:30)

A1 会場

講義棟 K101

化学が導く未来のエネルギー

3月22日午前

グリーン水素製造・利用の学理

(9:40~9:50)

1A1-05 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明(産総研太陽光発電研セ) ○佐山和弘(09:40~09:50)

座長 砂田 祐輔(9:50~11:00)

1A1-06 ATP 招待講演 エネルギーキャリアとしてのアンモニアを合成・分解するための特殊反応場の創製(名大院工) ○永岡勝俊(09:50~10:30)

1A1-10 ATP 依頼講演 水素生成のためのアンモニア電気分解の高電流密度・高効率化(早大先進理工) ○花田信子(10:30~11:00)

(11:00~11:10)

1A1-13 ATP インキュベーションタイム (11:00~11:10)

座長 佐山 和弘(11:10~12:00)

1A1-14 ATP 基調講演 水素社会へ向けての展望と期待(日大理工・水素エネルギー協会) ○西宮伸幸(11:10~12:00)

3月22日午後

座長 池田 茂(13:10~14:20)

1A1-26 ATP 招待講演 ギ酸からの高圧水素製造技術開発(産総研化学プロセス) ○川波 肇(13:10~13:50)

1A1-30 ATP 依頼講演 非酸化物光触媒を用いた可視光水分解系の開発(阪市大複合先端研) ○東 正信(13:50~14:20)

(14:20~14:30)

1A1-33 ATP インキュベーションタイム (14:20~14:30)

座長 天尾 豊(14:30~16:20)

1A1-34 ATP 招待講演 ギ酸/CO₂相互変換のための金属触媒ナノエン지니어リング(阪大院工・京大触媒電池) ○森 浩亮(14:30~15:10)

1A1-38 ATP 依頼講演 オペランド分光法に基づいた燃料電池システム用CO選択酸化触媒の解析と設計(京大ESICB) ○佐藤勝俊(15:10~15:40)

1A1-41 ATP 招待講演 担持合金ナノ粒子触媒による水素製造(首都大院都市環境・首都大水素セ・首都大金の化学セ・京大触媒電池) ○宋戸哲也(15:40~16:20)

(16:20~16:30)

1A1-45 ATP インキュベーションタイム (16:20~16:30)

座長 天尾 豊(16:30~17:20)

1A1-46 ATP 基調講演 グリーン水素製造・貯蔵輸送・利用の現状と今後(早大院先進理工) ○関根 泰(16:30~17:20)

(17:20~17:30)

1A1-51 閉会挨拶(阪市大複合先端研) ○天尾 豊(17:20~17:30)

3月23日午前

グリーン水素利用技術：東京2020大会を中心に

(10:00~10:10)

2A1-07 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明(横国大GHRC) ○太田健一郎(10:00~10:10)

座長 太田 健一郎(10:10~11:00)

2A1-08 ATP 基調講演 水素社会実現に向けた経済産業省の取組(経産省資源エネ) ○白井俊行(10:10~11:00)

(11:00~11:10)

2A1-13 ATP インキュベーションタイム (11:00~11:10)

座長 太田 健一郎(11:10~11:50)

2A1-14 ATP 招待講演 水素エネルギー・燃料電池に関する現状と課題(九大水素エネルギー国際研セ) ○佐々木一成(11:10~11:50)

(11:50~12:00)

2A1-18 ATP インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月23日午後

座長 佐藤 純一(13:00~14:10)

2A1-25 ATP 招待講演 産総研FREAの水素社会実現に向けた取り組み(産総研再エネ研セ) ○古谷博秀(13:00~13:40)

2A1-29 ATP 依頼講演 アルカリ水電解によるグリーン水素製造(旭化成) ○臼井健敏(13:40~14:10)

(14:10~14:20)

2A1-32 ATP インキュベーションタイム (14:10~14:20)

座長 古谷 博秀(14:20~15:40)

2A1-33 ATP 招待講演 トヨタ燃料電池バスの特徴と今後の展望(トヨタ自動車) ○香川卓也(14:20~15:00)

2A1-37 ATP 招待講演 ホンダの燃料電池自動車の開発と水素社会への挑戦(本田技研) ○守谷隆史(15:00~15:40)

(15:40~15:50)

2A1-41 ATP インキュベーションタイム (15:40~15:50)

座長 天尾 豊(15:50~16:50)

2A1-42 ATP 依頼講演 燃料電池フォークリフトの取り組み(豊田自動織機) ○吉川浩二(15:50~16:20)

2A1-45 ATP 依頼講演 再生可能エネルギー導入を促進する水素ソリューション(東芝エネルギーシステムズ) ○佐藤純一(16:20~16:50)

(16:50~17:00)

2A1-48 閉会挨拶(横国大GHRC) ○太田健一郎(16:50~17:00)

A2 会場

講義棟 K102

化学が導く未来のエネルギー

3月22日午前

ペロブスカイト光電変換技術：実用化への課題

(9:20~9:30)

1A2-03 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明(桐蔭横浜大医工) ○宮坂 力(09:20~09:30)

座長 松尾 豊(9:30~10:10)

1A2-04 ATP 招待講演 ペロブスカイト太陽電池の材料開発：最近の進歩と今後の展開(桐蔭横浜大医工) ○宮坂 力(09:30~10:10)

(10:10~10:20)

1A2-08 ATP インキュベーションタイム (10:10~10:20)

座長 池田 茂(10:20~11:40)

1A2-09 ATP 招待講演 ペロブスカイト太陽電池の実用化技術開発(パナソニック) ○金子幸広・樋口 洋・西原孝史・内田隆介・山本輝明・松井太佑・根上卓之(10:20~11:00)

1A2-13 ATP 招待講演 リコーで開発中のペロブスカイト太陽電池について(リコー) ○堀内 保(11:00~11:40)

(11:40~11:50)

1A2-17 ATP インキュベーションタイム (11:40~11:50)

3月22日午後

座長 松尾 豊(13:00~14:30)

1A2-25 ATP 招待講演 ペロブスカイト太陽電池の宇宙応用に向けて(JAXA・Saul Technologies・QST) ○今泉 亮・Malinkiewicz Olga・大島 武(13:00~13:40)

1A2-29 ATP 基調講演 有機金属ハライドペロブスカイト太陽電池の最新技術(東大院総合・東大先端研セ) ○瀬川浩司(13:40~14:30)

(14:30~14:40)

1A2-34 ATP インキュベーションタイム (14:30~14:40)

座長 池田 茂 (14:40~15:50)
1A2-35 ATP 招待講演 ペロブスカイト太陽電池の実用化：見えてきた課題と取り組み (京大化研) ○若宮淳志 (14:40~15:20)
1A2-39 ATP 依頼講演 有機無機ペロブスカイトと金属錯体による超高感度光検出 (桐蔭横浜大院工・JST さきがけ) ○石井あゆみ・宮坂力 (15:20~15:50)

(15:50~16:00)
1A2-42 ATP インキュベーションタイム (15:50~16:00)

座長 宮坂 力 (16:00~17:20)
1A2-43 ATP 招待講演 相安定・低欠陥ペロブスカイト量子ドット-光物性と光励起キャリアダイナミクスおよび太陽電池への応用- (電通大院情報理工) ○沈 青 (16:00~16:40)
1A2-47 ATP Special Invited Lecture Saule's road Towards Commercialization of Inkjet printed Lightweight, Flexible and Durable Perovskite Solar Cell Modules (Saule Technologies) ○SENOL, Oz (16:40~17:20)

(17:20~17:30)
1A2-51 閉会挨拶 (桐蔭横浜大医工用) ○宮坂 力 (17:20~17:30)

3月23日午前

蓄電社会の実現へ：E モビリティから定置型まで

(10:30~10:40)
2A2-10 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (横国大院工) ○藪内直明 (10:30~10:40)

座長 細野 英司 (10:40~11:50)
2A2-11 ATP 招待講演 酸素レドックス反応を利用した高容量正極材料の開発 (東大院工・京大 ESICB) ○久久保将史・山田淳夫 (10:40~11:20)
2A2-15 ATP 依頼講演 車載リチウムイオン電池の劣化メカニズム解析 (日本自動車研究所) ○安藤慧佑・松田智行・明神正雄・今村大地 (11:20~11:50)

(11:50~12:00)
2A2-18 ATP インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月23日午後

座長 藪内 直明 (13:30~14:50)
2A2-28 ATP 基調講演 ポストリチウムイオン電池への元素戦略 (九大先導研・九大総合理工) ○岡田重人・坂本 遼・白 瑠文・中本康介 (13:30~14:20)
2A2-33 ATP 依頼講演 リチウムイオン電池用高容量不規則岩塩型 Mn オキシフッ化物正極 (パナソニック) ○夏井竜一・名倉健祐・大内 暁・池内一成 (14:20~14:50)

(14:50~15:00)
2A2-36 ATP インキュベーションタイム (14:50~15:00)

座長 保科 圭吾 (15:00~16:50)
2A2-37 ATP 招待講演 第一原理計算による電極/電解液界面の解析と電解液探索 (物材機構 CMI²) ○袖山慶太郎 (15:00~15:40)
2A2-41 ATP 依頼講演 最先端電池解析技術の紹介 (日産アーク) ○伊藤孝憲 (15:40~16:10)
2A2-44 ATP 招待講演 卑金属負極・電解液界面の材料設計 (神戸大院工) ○松井雅樹 (16:10~16:50)

(16:50~17:00)
2A2-48 閉会挨拶 (横国大院工) ○藪内直明 (16:50~17:00)

3月24日午前

未利用熱利用・エネルギーハーベスティングの課題と未来

(10:20~10:30)
3A2-09 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (産総研省エネ) ○山本 淳 (10:20~10:30)

座長 山本 淳 (10:30~11:20)
3A2-10 ATP 基調講演 機械工学者から見た化学が拓くエネルギーハーベスティングの未来 (東大院工) ○鈴木雄二・金 善右・鈴木邦子・Kasidis Kittipaisalsilpa・三好智也 (10:30~11:20)

座長 細野 英司 (11:20~12:00)
3A2-15 ATP 招待講演 エネルギーハーベスティングの市場動向 (NTT データ経営研究所) ○竹内敬治 (11:20~12:00)

(12:00~12:10)
3A2-19 ATP インキュベーションタイム (12:00~12:10)

3月24日午後

座長 山本 淳 (13:30~14:20)
3A2-28 ATP 基調講演 IoT 熱環境発電へ向けた新原理高性能熱電材料およびデバイスの開発 (物材機構 MANA・筑波大) ○森 孝雄 (13:30~14:20)

座長 細野 英司 (14:20~15:00)
3A2-33 ATP 招待講演 熱電技術の普及拡大にむけた材料およびデバイスの開発 (物材機構 GREEN・早大理工・東大院工) ○後藤真宏・岩瀬英治・塩見淳一郎 (14:20~15:00)

(15:00~15:10)
3A2-37 ATP インキュベーションタイム (15:00~15:10)

座長 山本 淳 (15:10~16:30)
3A2-38 ATP 招待講演 高効率熱発電電を実現するカルコゲナイド系熱電材料とデバイス (産総研省エネ) ○太田道広 (15:10~15:50)
3A2-42 ATP 招待講演 バンド構造制御による新たな熱-電力変換技術 (九大院工) ○宗藤伸治 (15:50~16:30)

(16:30~16:40)
3A2-46 閉会挨拶 (産総研省エネ) ○山本 淳 (16:30~16:40)

シーズ共創セッション ～ホンネで語ろう、産学連携の新しいカタチ～

3月25日午前

(9:00~9:10)
4A2-01 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (三菱ケミカルホールディングス) ○浦田尚男 (09:00~09:10)

座長 阿部 竜 (9:10~10:30)
4A2-02 ATP 招待講演 科学技術振興機構 (JST) の「共創」推進に向けた取り組み (JST) ○荒川敦史 (09:10~09:50)
4A2-06 ATP 招待講演 オープン・イノベーションと対話モデル (東大院経営管理) ○川上智子 (09:50~10:30)

座長 辻 良太郎 (10:30~11:50)
4A2-10 ATP 招待講演 製薬企業のオープンイノベーションの取り組み (第一三共) ○藤澤道雄・金澤佳人・遠藤 淳 (10:30~11:10)
4A2-14 ATP 招待講演 異端は認められた瞬間に先端に変わる -特殊環境ペプチドからネオバイオロジクスへ- (東大院理) ○菅 裕明 (11:10~11:50)

(11:50~12:20)
4A2-18 総合討論 (三菱ケミカルホールディングス) ○浦田尚男 (11:50~12:20)

E1 会場 講義棟 K401

未来社会を支えるマテリアルとデザイン

3月22日午前

SDGs 時代の素材：セルロースナノファイバー

(9:30~9:40)
1E1-04 趣旨説明 SDGs 時代の素材：セルロースナノファイバー (森林総研) ○林 徳子 (09:30~09:40)

座長 江利山 祐一 (9:40~11:50)
1E1-05 ATP 基調講演 CNF をよりよく使うために～NEDO CNF 特性評価プロジェクト成果と今後の方向～ (森林総研) ○林 徳子 (09:40~10:30)
1E1-10 ATP 招待講演 生物学から見た CNF 生成のしくみ (東大院新領域・奈良先端大バイオ) ○大谷美沙都・出村 拓 (10:30~11:10)
1E1-14 ATP 招待講演 ナノセルロース製造におけるライフサイクル思考 (東大 IFI・東大院工・東大総括プロ) ○菊池康紀・菊池 大・兼松祐一郎 (11:10~11:50)

(11:50~12:00)
1E1-18 ATP インキュベーションタイム (11:50~12:00)

3月22日午後

座長 渡部 英司 (13:00~15:10)
1E1-25 ATP 基調講演 ナノセルロースを次のステージへ～強度から

機能へ～（産総研機能化学）○遠藤貴士（13:00～13:50）
1E1-30 ATP 招待講演 ビッカリングエマルションを起点とした CNF/
ポリマー複合材料開発（東大院農）○藤澤秀次（13:50～14:30）
1E1-34 ATP 招待講演 CNF を利用した高性能フィルターの開発（東
工大物質理工）○松本英俊（14:30～15:10）

（15：10～15：20）
1E1-38 ATP インキュベーションタイム （15:10～15:20）

座長 久保 伸夫（15：20～17：00）
1E1-39 ATP 招待講演 柑橘果実の搾汁残渣から調製した CNF の特性
とその利用（愛媛大 PIICE）○秀野晃大（15:20～16:00）
1E1-43 ATP 依頼講演 セルロースファイバー樹脂の家電製品適用に
向けた取組み（パナソニック）○名木野俊文・浜辺理史・今西正義
（16:00～16:30）
1E1-46 ATP 依頼講演 CNF 成形体「ELLEX-M」の製造技術と用途
開発事例（大王製紙）○大川淳也（16:30～17:00）

（17：00～17：10）
1E1-49 閉会挨拶（コニカミノルタ）○久保伸夫（17:00～17:10）

3月23日午前 インフォマティクスが拓くモノ作りの新しい潮流（I 基礎と 応用）

（9：30～9：40）
2E1-04 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明（産総研触媒化学融合研
セ）○佐藤一彦（09:30～09:40）

座長 高谷 光（9：40～10：30）
2E1-05 ATP 基調講演 マテリアルズインフォマティクス概説（情
報・システム研究機構・物材機構）○吉田 亮（09:40～10:30）

（10：30～10：40）
2E1-10 ATP インキュベーションタイム （10:30～10:40）

座長 高谷 光（10：50～11：30）
2E1-12 ATP 招待講演 機械学習を利用した MOF 合成（関西学院大
院理工・JST さきがけ）○田中大輔（10:50～11:30）

座長 松本 和弘（11：30～12：10）
2E1-16 ATP 招待講演 機械学習による機能性材料の設計・探索法の
基礎（北陸先端大情報セ・JST さきがけ・物材機構・理研）○本郷研
太（11:30～12:10）

3月23日午後

座長 松本 和弘（13：00～13：40）
2E1-25 ATP 招待講演 有機化学者が取り組む機械学習によるフロー
反応条件迅速最適化（静岡大グリーン科学技術研・静岡大院工）○間
瀬暢之・武田和宏（13:00～13:40）

（13：40～13：50）
2E1-29 ATP インキュベーションタイム （13:40～13:50）

座長 井山 浩暢（13：50～14：40）
2E1-30 ATP 基調講演 機械学習と理論化学の融合～汎関数開発を例
に（早大先進理工・早大理工総研・京大 ESICB）○中井浩巳（13:50～
14:40）

（14：40～14：50）
2E1-35 ATP インキュベーションタイム （14:40～14:50）

座長 井山 浩暢（15：00～15：40）
2E1-37 ATP 招待講演 反応経路自動探索による遷移状態探索と機械
学習による解析・触媒探索（奈良先端大研究推進機構）○畑中美穂
（15:00～15:40）

（15：40～15：50）
2E1-41 ATP インキュベーションタイム （15:40～15:50）

座長 井山 浩暢（15：50～16：30）
2E1-42 ATP 招待講演 機械学習による X 線吸収スペクトルの新規解
析手法（阪府大院工・JST さきがけ）○池野豪一（15:50～16:30）

（16：30～16：40）
2E1-46 閉会挨拶（産総研触媒化学融合研セ）○佐藤一彦（16:30～
16:40）

3月24日午前 インフォマティクスが拓くモノ作りの新しい潮流（II 機能 材料）

（9：30～9：40）
3E1-04 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明（信州大 RISM・物材機構

GREEN）○古山通久（09:30～09:40）

座長 是津 信行（9：40～10：20）
3E1-05 ATP 招待講演 物理を中心としたインフォマティクスの実在
系多元合金ナノ粒子への展開（物材機構 GREEN・信州大 RISM）○古
山通久（09:40～10:20）

（10：20～10：30）
3E1-09 ATP インキュベーションタイム （10:20～10:30）

座長 是津 信行（10：30～11：10）
3E1-10 ATP 招待講演 超高エネルギー密度蓄電池の電流密度分布診
断技術の開発（神戸大 CMDS・Integral Geometry Science）○木村建次
郎・松田聖樹・鈴木章吾・藪本 海・美馬勇輝・木村憲明（10:30～
11:10）

（11：10～11：20）
3E1-14 ATP インキュベーションタイム （11:10～11:20）

3月24日午後

座長 原 賢二（13：00～13：30）
3E1-25 ATP 依頼講演 The First Machine-Generated Research Book
（シュプリンガー・ジャパン）○小泉真一（13:00～13:30）

（13：30～13：40）
3E1-28 ATP インキュベーションタイム （13:30～13:40）

座長 原 賢二（13：40～14：30）
3E1-29 ATP 基調講演 プロセスも含めたポリマー材料設計戦略（東
大院工・奈良先端大）○船津公人（13:40～14:30）

（14：30～14：40）
3E1-34 ATP インキュベーションタイム （14:30～14:40）

座長 原 賢二（14：40～15：20）
3E1-35 ATP 招待講演 半導体物性の系統的予測とデータ駆動型新物
質探索（東工大科学技術創成研究院・物材機構 MaDIS）○大場史康
（14:40～15:20）

（15：20～15：30）
3E1-39 ATP インキュベーションタイム （15:20～15:30）

座長 谷口 理（15：30～16：10）
3E1-40 ATP 招待講演 ディープラーニングを用いた破断面解析のた
めのコンソーシアム活動（神戸工業試験場・労働安全衛生総合研究
所・横浜国大リスク共生社会創造セ）○鶴井宣仁・山際謙太・澁谷忠
弘・酒井信介（15:30～16:10）

（16：10～16：20）
3E1-44 ATP インキュベーションタイム （16:10～16:20）

座長 谷口 理（16：20～17：00）
3E1-45 ATP 招待講演 全固体電池材料における材料インフォマティ
クスを用いた新材料探索（トヨタ自動車）○山崎久嗣（16:20～17:00）

（17：00～17：10）
3E1-49 閉会挨拶（東京工科大工）○原 賢二（17:00～17:10）

3月25日午前 ヒトとヒト、モノとモノをつなぐためのデバイスとマテリ アル

（9：10～9：20）
4E1-02 趣旨説明 閉会挨拶（コニカミノルタ）○柏木恒雄（09:10～
09:20）

座長 飯野 裕明（9：20～10：40）
4E1-03 ATP 招待講演 次世代産業用ロボットののための磁性流体ハン
ドの開発（九工大院工）○西田 健（09:20～10:00）
4E1-07 ATP 招待講演 新たな情報提示の道を拓く静電フィルムアク
チュエータ（東大院工）○山本晃生（10:00～10:40）

（10：40～10：50）
4E1-11 ATP インキュベーションタイム （10:40～10:50）

座長 飯野 裕明（10：50～12：00）
4E1-12 ATP 招待講演 Convivial(自立共生的)な道具を支えるデバイス
とマテリアルのデザイン ～無線給電とソフトロボットを例に～（東大
院工）○川原圭博（10:50～11:30）
4E1-16 ATP 依頼講演 経済産業省の Society 5.0 への取り組み（経産
省）○遠山 毅（11:30～12:00）

3月25日午後

座長 柏木 恒雄 (13:00~14:30)

4E1-25 ATP 招待講演 ウェアラブルデバイスによる人間情報計測 (奈良女大生活環境) ○オ脇直樹 (13:00~13:40)

4E1-29 ATP 招待講演 賢くない個たちによる知的な集団行動-アリの巧妙な社会分業の仕組みを行動実験と数理モデルで解明する- (広島大院統合生命科学) ○西森 拓 (13:40~14:20)

4E1-33 ATP 依頼講演 柏の葉スマートシティの取り組みについて (三井不動産が目指すスマートシティ) (三井不動産) ○谷津邦成 (14:20~14:50)

(14:50~15:00)

4E1-36 ATP インキューベーションタイム (14:50~15:00)

座長 古賀 遼 (15:00~16:30)

4E1-37 ATP 依頼講演 安全・安心を創る「正しく知って・つなげる」技術 (セコム) ○目崎祐史 (15:00~15:30)

4E1-40 ATP Invited Lecture Next-Generation Smart Apparel e-skin - New System for Creating New Business from R&D - (Xenoma) ○AMIMORI, Ichiro (15:30~16:00)

4E1-43 ATP 依頼講演 SMART IMPEDANCE:シートベルトセンサを中心とした、POSH WELLNESS LABORATORY の技術展開 (POSH WELLNESS LABORATORY・産総研 FLEC) ○根武谷 吾 (16:00~16:30)

(16:30~16:40)

4E1-46 閉会挨拶 (コニカミノルタ) ○柏木恒雄 (16:30~16:40)

E5 会場

講義棟 K405

令和時代を拓くヘルスケア・イノベーション

3月22日午前

未来の医療機器・ライフサイエンスを支える先端材料

(9:30~9:40)

1E5-04 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (九大先導研) ○田中 賢 (09:30~09:40)

座長 長崎 健 (9:40~10:50)

1E5-05 ATP 招待講演 化学的に構成された基礎培養液から造血幹細胞を増幅する (東大医科研) ○山崎 聡 (09:40~10:20)

1E5-09 ATP 依頼講演 血液適合性マテリアルの開発と実用化 (東洋紡) ○梶井文彦 (10:20~10:50)

(10:50~11:00)

1E5-12 ATP インキューベーションタイム (10:50~11:00)

座長 田中 賢 (11:00~11:50)

1E5-13 ATP 基調講演 医療革新をもたらす経皮ワクチンと創薬材料としてのイオン液体 (九大院工) ○後藤雅宏 (11:00~11:50)

3月22日午後

座長 大橋 秀和 (13:00~15:00)

1E5-25 ATP 招待講演 バイオミメティックスに基づく粘接着材料の創出 (阪工大工・阪工大ナノ材研) ○藤井秀司 (13:00~13:40)

1E5-29 ATP 招待講演 多糖核酸複合体を用いた核酸医薬の DDS: その発見から企業化までの道のり (北九大国際環境工) ○櫻井和朗 (13:40~14:20)

1E5-33 ATP 招待講演 2次元バイオマテリアルとしての高分子超薄膜 ~設計・物性・医工学展開~ (東海大工・東海大マイクロ・ナノ研) ○岡村陽介 (14:20~15:00)

(15:00~15:10)

1E5-37 ATP インキューベーションタイム (15:00~15:10)

座長 大角 幸治 (15:10~16:40)

1E5-38 ATP 依頼講演 生体親和性を指向した機能性重合材料の開発 (富士フイルム) ○菅崎敦司 (15:10~15:40)

1E5-41 ATP 依頼講演 化学特性を活かす歯科用接着材料の研究と実用化 (サンメディカル) ○山本隆司 (15:40~16:10)

1E5-44 ATP 依頼講演 生体適合性ポリマーの新展開 (日本触媒) ○中田善知 (16:10~16:40)

(16:40~16:50)

1E5-47 閉会挨拶 (九大先導研) ○田中 賢 (16:40~16:50)

3月23日午後

診断・予防化学が切り拓く未来のヘルスケア

(13:00~13:10)

2E5-25 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (東大院理) ○小澤岳昌 (13:00~13:10)

座長 小澤 岳昌 (13:10~15:30)

2E5-26 ATP 基調講演 マイクロ流体デバイスを用いたバクテリア・シングルセルゲノミクス解析およびその応用 (産総研-早大 CBBDOIL・早大先進生命動態研・早大ナノライブ創新研・早大院先進理工) ○竹山春子・細川正人・西川洋平・小川雅人 (13:10~14:00)

2E5-31 ATP 招待講演 腸内環境に基づく層別化ヘルスケアがもたらす新たな予防医学 (慶大 IAB・神奈川県立産技総研・筑波大・メタジェン) ○福田真嗣 (14:00~14:40)

2E5-35 ATP 基調講演 リキッドバイオブシーによる未病社会の実現 (東医大医総研) ○落谷孝広 (14:40~15:30)

(15:30~15:40)

2E5-40 ATP インキューベーションタイム (15:30~15:40)

座長 櫻井 香里 (15:40~16:40)

2E5-41 ATP 依頼講演 乳児腸内フローラの形成とビフィズス菌の定着意義 (ヤクルト中央研究所) ○松本隆広 (15:40~16:10)

2E5-44 ATP 依頼講演 糞便メタボロミクスを利用した動脈硬化症予防食品の開発 (協同乳業) ○松本光晴 (16:10~16:40)

3月24日午後

モダリティ新時代を築くバイオベンチャー

(13:00~13:10)

3E5-25 趣旨説明 オーガナイザー趣旨説明 (東大院理) ○菅 裕明 (13:00~13:10)

座長 大野 修 (13:10~14:30)

3E5-26 ATP 招待講演 「脳機能の再生」実現を目指すサンバイオ (サンバイオ) ○森 敬太 (13:10~13:50)

3E5-30 ATP 招待講演 細胞治療 (細胞医薬) の実用化を目指して (ジーンテクノサイエンス) ○谷 匡治 (13:50~14:30)

(14:30~14:40)

3E5-34 ATP インキューベーションタイム (14:30~14:40)

座長 湯村 秀一 (14:40~16:00)

3E5-35 ATP 招待講演 核酸医薬品創成への新たな挑戦 (NapaJen Pharma, Inc.) ○有馬賢治 (14:40~15:20)

3E5-39 ATP 招待講演 ミラバイオロジクスの提供する革新的ニューモダリティ (ミラバイオロジクス) ○加藤益弘 (15:20~16:00)

(16:00~16:10)

3E5-43 ATP インキューベーションタイム (16:00~16:10)

座長 湯村 秀一 (16:10~16:50)

3E5-44 ATP 招待講演 日本発バイオテックのチャレンジ~産官学グローバルの視点から~ (デロイト トーマツ コンサルティング) ○増井慶太 (16:10~16:50)

(16:50~17:00)

3E5-48 ATP インキューベーションタイム (16:50~17:00)

P 会場

森戸記念体育館 アリーナ

3月22日午後

(15:00~16:30)

エネルギー

1PC-001 Extended Viologen Derivatives as Anode Materials for Molecular Ion Battery (RIECEN, AIST) ○KATO, Minami; SANO, Hikaru; YAO, Masaru

1PC-002 Crystallographic Change of 2,5-Dimethoxy-1,4-benzoquinone as Active Material during Charge and Discharge (RIECEN, AIST) ○SANO, Hikaru; KATO, Minami; TAKEICHI, Nobuhiko; YAO, Masaru; SHIKANO, Masahiro; KIYOBAYASHI, Tetsu; KUWABATA, Susumu; MATSUMOTO, Hajime

1PC-003 Development of supramolecular photocatalysts by self-assembly of

water-soluble organic dyes (Grad. Sch. Eng., Osaka Univ.)
○SHIGEMITSU, Hajime; TANI, Yohei; TAMEMOTO, Tomoe; KIDA, Toshiyuki

1PC-004 Titanium Boride (TiB₂) based exfoliated 2D-nanosheets as an active anodic material for energy storage in Li-ion Battery (Sch. Mat. Sci., JAIST)
○VARMA, Akash; BADAM, Rajashekar; JASUJA, Kabeer; MATSUMI, Noriyoshi

1PC-005 色素分子を利用した蓄熱性低分子における冷結晶化の熱分析 (産総研計量標準総合セ) ○本田曉紀・宮村一夫・井藤浩志

1PC-006 Voltage-Applied In-Situ Analysis of Metal Current Collector / Na₃Zr₂Si₂PO₁₂ Interface (Grad. Sch. Eng., Nagoya Univ.)
○MITSUKUCHI, Naohiro; YAMAMOTO, Takayuki; SUZUKI, Yasuhiro; YASUNO, Satoshi; MOTOYAMA, Munekazu; IRIYAMA, Yasutoshi

1PC-007 Development of Next-Generation Lithium-Sulfur Battery with Long Life and High Energy Density (ADEKA Corp.) ○KAKIAGE, Kenji; KIMIJIMA, Kouichi

1PC-008 Fabrication of p-type inorganic semiconductor thin film using solution process (Fac. Sci., Yamagata Univ.) ○ISHIZAKI, Manabu; KOYA, Naoki; GOTOH, Yoshitomo; SATOH, Daiki; KURIHARA, Masato

1PC-009 800 nm までの波長の光に応答する SrTiO₃:Ir,Sb の可視光水分解を目指した光触媒設計 (東理大理) ○海谷恭平・吉野隼矢・山口友一・工藤昭彦

1PC-010 Fabrication and Thermoelectric Properties of a Solution-Processed Film of π -Conjugated Nickel Complex with Core-Shell Particles (Grad. Sch. Eng., OIT; Fac. Eng., OIT; PRESTO, JST) ○YAMADA, Yuto; OYAMA, Keigo; HIRAI, Tomoyasu; FUJII, Syuji; MURAOKA, Masahiro; MURATA, Michihisa

1PC-011 画像解析を用いた鉛蓄電池正極の反応分布解析 (日立化成)
○古田土克倫・平野博紀・原田素子・住谷圭二

1PC-012 カドミウムカルコゲニドクラスターの精密分離と光学特性 (京大化研) ○高畑 遼・猿山雅亮・坂本雅典・寺西利治

1PC-013 First-Principles Study of the Electrochemical Sodiation of Rutile-Type Vanadium Dioxide (Centre EMT, Institut National de la Recherche Scientifique) KOCH, Daniel; ○MANZHOS, Sergei

1PC-014 固体電池における単層カーボンナノチューブの添加と性能向上 (楠本化成) ○清水大介

1PC-015 金属錯体とイオン脂質をインタカレートした層状 MnO₂ の電気化学的評価 (関東学院大理工) ○友野和哲・欧 逸生・板倉 誠・隅本倫徳

1PC-016 金属イオン処理酸化タングステン光触媒による光電気化学的水分解 (広尾学園高) ○安田七海

1PC-017 化学的手法により機能性を付与した膜・電極接合体構成部材の開発 (KRI) ○朝倉典昭・堀内孝祐・定塚哲也・野稻啓二・関 翔太・松田敏彦

資源・環境・GSC(Green Sustainable Chemistry)

1PC-018 Enhanced electrochemical CO₂ reduction selectivity by biomimetic surface based self-assembled polymer microparticles to electrode (Toyota Central R&D Labs., Inc.) ○SAKAMOTO, Naonari; ARAI, Takeo

1PC-019 Extremely Efficient Synthesis of Acrylates by Catalytic Transesterification (Grad. Sch. Eng., Nagoya Univ.) ○NG, Jie Qi; ARIMA, Hiro; MOCHIZUKI, Takuya; TOH, Kohei; HATANO, Manabu; ISHIHARA, Kazuaki

1PC-020 Permanganate-Induced Complete Decomposition of Fluororubbers in Low temperature Subcritical water (Grad. Sch. Fac. Sci., Kanagawa Univ.; Institut Charles Gerhardt, Montpellier, CNRS) ○HONMA, Ryo; HORI, Hisao; HORIIKE, Naoki; REIS DA CUNHA, Fernando; AMEDURI, Bruno

1PC-021 Towards Sustainable Ester Reductions (Univ. of Strathclyde) ○SHAALAN, Youssef; BOULTON, Lee; JAMIESON, Craig

1PC-022 Direct One-Step Synthesis of Fully Bio-based Resin from Polysaccharide and Natural Aldehyde (Grad. Sch. Nat. Sci. Technol., Kanazawa Univ.) ○HIROSE, Daisuke; SAMUEL, Kusuma; INA, Daiki; WADA, Naoki; TAKAHASHI, Kenji

1PC-023 Synthesis of platinum alloy sub-nanoparticles using metal inclusion complexes as precursors (Lab. Chem. Life Sci., Tokyo Tech.; JST-ERATO) ○AKANUMA, Yuki; IMAOKA, Takane; YAMAMOTO, Kimihisa

1PC-024 合金卑金属クラスターの精密合成と機能創出 (東工大化生研・JST-ERATO) ○森合達也・塚本孝政・神戸徹也・山元公寿・今岡享稔

1PC-025 Efficient decomposition of new PVDF-related materials in subcritical water in the presence of hydrogen peroxide (Fac. Sci., Kanagawa Univ.; Institut Charles Gerhardt, Montpellier, CNRS) ○IGARASHI, Kazuma; HORI, Hisao; BANERJEE, Sanjib; AMEDURI, Bruno

1PC-026 Molecular Modeling of Nano-Structured Ionic Liquid Crystal: Structural and Water Adsorption Properties (Grad. Sim. Studies, Univ. of Hyogo) ○ISHII, Yoshiki; WATANABE, Go; MATUBAYASI, Nobuyuki; KATO, Takashi; WASHIZU, Hitoshi

1PC-027 光活性化二酸化塩素を用いたバイオマスプラの機能化 (阪大薬) ○浅原時泰

1PC-028 High-yield direct synthesis of adipic acid from cyclohexane oxidation reaction using trimetallic subnanocatalyst (JST-ERATO, IIR Tokyo Tech.) ○MIFTAKHUL, Huda; TANABE, Makoto; YAMAMOTO, Kimihisa

1PC-029 非対称ピンサー配位子の簡便合成と高活性鉄触媒への展開 (北理大理) ○神谷昌宏・日下晴貴・湯尻浩太・弓削秀隆

1PC-030 高活性サブナノ酸化銅触媒の反応性と構造解析 (東工大化生研・JST-ERATO) ○園部量崇・田邊 真・山元公寿

1PC-031 Sustainable Organic Synthesis with Sodium Dispersion: Cross-Coupling Reaction and Birch Reduction (RIKEN CSRS) ○ASAKO, Sobi; TAKAHASHI, Ikko; NAKAJIMA, Hirotaka; TSUBOUCHI, Gen; KATAYAMA, Yumiko; MURAKAMI, Yoshiaki; ILIES, Laurean; TAKAI, Kazuhiko

1PC-032 SrTiO₃:Rh,Sb 光触媒を用いた可視光水分解における助触媒の最適化 (東理大理) ○菊地恵理佳・吉野隼矢・増山貴裕・山口友一・加藤英樹・工藤昭彦

1PC-033 ハロペルオキシダーゼ活性点構造を有する金属酸化物の合成と触媒特性 (金沢大理工) ○菊川雄司・栗本雄志・林 宜仁

1PC-034 Selective Adsorption of Trace Amount of Sulfur Containing Molecules Using Nanoporous Metal Complexes with Open Metal Sites (Grad. Sch. Eng., Nagoya Univ.; Panasonic Corp.) ○YONEZU, Akira; MORITA, Masashi; KUSAKA, Shinpei; HORI, Akihiro; MATSUDA, Ryotaro

1PC-035 集積型フローリアクターを用いるフェノール類の脱水型アミノ化法 (産総研触媒化学融合研セ) ○市塚知宏・高橋一光・甲村長利・佐藤一彦・小林 修

1PC-036 二種の人工ペプチドと DNA を用いたミネラルゼーションによる金-チタニア光触媒の元素含有比の制御 (甲南大 FIRST) ○尾崎誠・鶴岡孝章・富崎欣也・臼井健二

1PC-037 Bubble Size Dependence of Contact Angle of CO₂/Brine/Mineral Systems (GSJ, AIST) ○SHIGA, Masashige; AICHI, Masaatsu; SORAI, Masao; HONDA, Hiromi

1PC-038 金属硫化物水素生成光触媒, 長波長応答素生成光触媒および還元型酸化グラフェン電子伝達剤からなる可視光水分解のための Z-スキーム系の開発 (明大理工) ○守屋海沙・青柳良輔・三石雄悟・加藤英樹・佐山和弘・工藤昭彦・岩瀬顕秀

1PC-039 めっき排水規制対応に向けたファインバブル洗浄技術の検討 (都産技研) ○森久保 諭・西田 葵・小坂幸夫・榎本大佑・田熊保彦

1PC-040 ファインバブル洗浄後における金属表面付着物の評価 (都産技研) ○西田 葵・森久保 諭・田熊保彦

1PC-041 Donor-acceptor Type Conjugated Porous Polymers for Visible-light-driven Photocatalytic Hydrogen Evolution (Sch. of Chem. Sci. and Eng., Tongji Univ. of China.) ○YU, Jie; ZHANG, Chi

1PC-042 Chiral Phosphoric Acid-Catalyzed Enantioselective Direct Arylation of Iminoquinones: A Case Study of the Model Selectivity (Fac. of Chem., Northeast East Normal Univ.) ○YUAN, Haiyan

1PC-043 A stable multifunctional cadmium-organic framework based on 2D stacked layers: effective gas adsorption, and excellent detection of Cr3+, CrO42-, and Cr2O72- (Fac. of Chem., NENU) ○ZHANG, Xiaoying

1PC-044 グルコンアミド誘導体吸水ゲルのホウ素吸着特性 (名市工研) ○松村大植・中野万敬

1PC-045 Porous Organic Polymers Based on Multi Carbonyl Group via Zincke Reaction (scut, China) ○TANG, Xiaohui; GU, Cheng

1PC-046 マイクロスケール CSTR を使用した「一般的な反応の連続フロー化」 (理薬工房・マックエンジニアリング・滋賀県工業技術総合セ) ○中山伸之・小谷 功・小谷研太郎・白井伸明・中居直浩

1PC-047 止まり穴を有するクロムめっき品に対応した六価クロム簡易抽出法の検討 (都産技研) ○安藤恵理・小野澤明良・桑原聡士・中澤亮二

1PC-048 Synthesis of Dicarboxylic Acids by Iridium-Catalyzed Dehydrogenation of Aqueous Solution of Diols (Grad. Sch. Human and Environ. Stud., Kyoto Univ.) ○FUJITA, Ken-ichi; TOYOOKA, Genki

1PC-049 シリル基を導入した新規N-ヘテロ環状カルベン錯体の触媒性能評価 (産総研触媒化学融合研セ) ○瀬尾悠斗・水崎智照・高木由紀夫・畠山航平・Lee Vladimir Ya.・崔 隆基・松本和弘・崔 準哲・深谷訓久

1PC-050 塩と水の共晶の融解過程を利用した微量成分濃縮法-磁場印加の影響 (神奈川大院理) ○荒井 健・西本右子

1PC-051 塗装廃棄物の燃焼処理に関する検討 (都産技研) ○田熊保彦・榎本大佑・森久保 諭・小坂幸夫

1PC-052 光触媒フィルタ性能評価試験法～各種臭気成分に対する効果およびモデル空気清浄機での実証試験～ (神奈川県立産技総研・盛和環境エンジニアリング) ○落合 剛・内田悦嗣・栗屋野樹・青木大輔・阿久津康久

1PC-053 CCS 技術開発のための地中貯留条件下でのナノ触媒による CO₂ 転換挙動に関する研究 (産総研地質調査総合セ) ○藤井孝志・朝比奈健太・西岡将輝

1PC-054 実環境水の光触媒による浄化 (産総研環境管理技術) ○根岸信彰・宮崎ゆかり・石井元揮・小浦節子・楊 英男

1PC-055 Selective C-P Bond Cleavage of Phosphine Oxides by Sodium (IRC3, AIST; Div. of Chem., Fac. Pure Appl. Sci., Univ. of Tsukuba) ○ZHANG, Jian-qiu; HAN, Li-biao

1PC-056 大学の教養教育における科学リテラシー-化学教育を中心に-(大学非常勤講師・四国学院大) ○内山弘美・杉本孝作

新素材

1PC-057 Membraneless polyester microdroplets as primordial compartments at the origins of life (Earth-Life Science Institute, Tokyo Tech.) ○JIA, Tony Z; CHANDRU, Kuhan; HONGO, Yayoi; AFRIN, Rehana; USUI,

Tomohiro; MYOJO, Kunihiro; CLEAVES, H. James
1PC-058 Development of U-shape heteroacenes containing heavy chalcogen atoms toward high-performance organic semiconductors (Grad. Sch. Eng., Kyushu Univ.; IFRC, Kyushu Univ.) ○MORI, Tatsuya; YASUDA, Takuma
1PC-059 ビス(ベンゾイミダゾール)配位ニッケルジクロロド錯体による揮発性有機化合物の吸着と分離 (弘大院理工・山形大理・長岡技科大理工) ○太田 俊・向井凌大・岩淵由理香・石崎 学・戸田智之・栗原正人・岡崎雅明
1PC-060 伸縮により蛍光を on/off スイッチするエラストマー (北大電子研・JST さきがけ) ○相良剛光
1PC-061 Design Integrin-targeted Molecular Self-assembling Peptides for Cancer Migration Inhibition (OIST) ○ROY, Sonja; ZHANG, Ye
1PC-062 Visualization of defect patterns in Langmuir-Blodgett films by X-ray reflectivity imaging (Grad. Sch. Pure Appl. Sci., Univ. of Tsukuba) ○ZHAO, Wenyang; SAKURAI, Kenji
1PC-063 アンテナ効果を用いた Eu(III)錯体の配位子立体構造とエネルギー移動機構の相関 (九大院理) ○宮崎 菜・坂本陽菜・宮田潔志・鈴木郁哉・北川裕一・長谷川靖哉・恩田 健
1PC-064 2-フェニルフェノールの精密酸化重合における高分子量化 (岡山理大理) ○中野晟志・玉置星都・東村秀之
1PC-065 イソマルトデキストリンを用いた水系 2 相分離による半導体性カーボンナノチューブ抽出と薄膜トランジスタ応用 (名大物国研セ・名大院理・名大院工・名大 IMaSS・林原) ○大町 遼・小室智彦・松本海成・中嶋みな子・渡邊 光・廣谷 潤・大野雄高・篠原久典
1PC-066 スマートアクチュエータに向けた光・熱応答性メカニカル結晶の開発 (早大データ科学総合研究教育セ) ○谷口卓也・萩原佑紀・長谷部翔大・石崎一輝・朝日 透・小島秀子
1PC-067 ボトルブラシポリマーを利用した透明かつ強靱なナノ相分離プラスチックの開発 (物材機構 ICYS) ○山内洋弘・佐光貞樹
1PC-068 水移動型反応によるアクロリニトリル-アクリルアミド共重合体の精密合成 (名大院理・名大院工・名大物国研セ) ○奈良岡あすか・有津 拓・内山峰人・浅井駿輝・野依良治・上垣外正己・中 寛史
1PC-069 コレステリック液晶のらせん軸配列技術の開発と光・力学材料の創製-機能色材, 回折素子, ひずみ可視化フィルムへの展開 (立命館大院生命科学) ○茂山友樹・具 教先・杉山翔平・柳原真樹・久野恭平・堤 治
1PC-070 多糖類とヒドロキシアパタイトからなるバイオマスハイブリッド材料の機械的性質 (同志社大院理工) ○奥田結衣・水谷 義
1PC-071 Development of Janus porphyrin protected gold cluster (Dep. Chem., Sch. Sci., Kyoto Univ.) ○OKAMOTO, Yasuo; SAKAMOTO, Masanori; TERANISHI, Toshiharu
1PC-072 光と熱でイオン伝導度を可逆制御できるルテニウム含有イオン液体 (神戸大院理) ○角谷 凌・持田智行
1PC-073 Organic mechanophore based on polymorphic pyrene derivatives (ENS Paris-Saclay; CNRS) ○HIRAI, Yuichi; WRONA-PIOTROWICZ, Anna; ZAKRZEWSKI, Janusz; MÉTIVIER, Rémi; CLÉMENCE, Allain
1PC-074 カルバゾール環を有する V 型両親媒性分子の合成と分子内包 (東京高専) ○工藤光日・岸田夏月・吉沢道人・井手智仁
1PC-075 Multicolor Plasmonic Nanotags for Anti-counterfeit in Supply Chain Security (Grad. Sch. Eng., Kyoto Univ.; Archilys; LASTI, Univ. of Hyogo; Fac. Sci. Eng., Doshisha Univ.) ○TAKAO, Fukuoka; HISHOSHI, Nakanishi; YASUSHIGE, Mori; AKINOBU, Yamaguchi
1PC-076 天然糖 1,5-アンヒドロ-D-グルシトールを原料とした低分子量ゲル化剤の特性 (農研機構) 加治木隆仁・今場司朗○岩浦里愛
1PC-077 Tuning the electrochemical performance of Ti3C2 and Hf3C2 monolayer by functional groups for metal-ion batteries application (NENU, China) ○LI, Wenliang
1PC-078 らせん状に配列した細孔を有する円柱状炭素材料 (大阪技術研・京大院工・阪大院工) ○丸山 純・品川 勉・渡辺 充・柏木行康・丸山翔平・長岡 亨・松田若菜・筒井祐介・関 修平・宇山 浩
1PC-079 Study on the Optoelectronic Properties of 2D Organic Single Crystals (SCUT, China) ○WAN, Yuejuan; GU, Cheng
1PC-080 講演中止
1PC-081 Fine Modulation of the Higher-Order Excitonic States toward More Efficient Conversion from Upper-Level Triplet to Singlet (SKLLMD, SCUT) ○XU, Yuwei; MA, Yuguang
1PC-082 アルキリン酸エステル塩の金属吸着特性 (九大 GIC) ○鴛海直之・溝口 誠
1PC-083 粗視化モデルを用いたエポキシ樹脂の力学特性解析 (日鉄ケミカル&マテリアル) ○庄司直幸・山下雄史
1PC-084 機能性薄膜蛍光体を指向した自己集積型希土類錯体の薄膜化と蛍光特性 (阪大院理) ○上野眞子・三枝栄子・三宅弘之・篠田哲史

通信・エレクトロニクス

1PC-085 高堅牢性分子指紋ナノワイヤによる革新的分子認識センシング (九大先導研) ○長島一樹・Liu Jiangyang・細見拓郎・守法 篤・中尾厚夫・高橋綱一・金井真樹・柳田 剛
1PC-086 Single-molecule conductance study of organometallic molecular wires with long-legged ligands (Lab. Chem. Life Sci., Tokyo Tech.; Sch. Sci., Tokyo Tech.; Sch. Mater. & Chem. Tech., Tokyo Tech.) ○TANAKA, Yuya; BAE, Yeana; FUJII, Shintaro; AKITA, Munetaka

1PC-087 共役型電子吸引基を導入した電子受容性ジチアルピセン誘導体の合成と有機薄膜デバイス特性評価 (名工大理工) ○塚本兼司・高木幸治・家 裕隆・永野修作・原 光生・小坂田耕太郎・竹内大介
1PC-088 新規レドックス活性シランカップリング剤の開発と有機トランジスタのゲート絶縁膜修飾 (兵庫県大院物質理) ○田原志志朗・池田貴志・角屋智史・小澤芳樹・阿部正明
1PC-089 液晶性スクアレニ色素の開発と光学特性評価 (阪府大院工・千歳科技大理工) ○高野将史・前田壮志・島 悠士朗・八木繁幸・大越研人
1PC-090 柔軟性/強誘電性結晶の分子動力学計算による検討 (産総研産総研電子光技術・北大院理) ○米谷 慎・原田 潤
1PC-091 様々な実験条件におけるギ酸系粗化液による、銅のエッチング工程の交流インピーダンス法による解析 (宇都宮大工) ○吉原佐知雄・奥山理史・野尻尚克・石堂慎士・菊地義弘
1PC-092 Effects of microwave on human beings; theoretical analysis of microwave heating in polar solvent enhancing chemical kinetics (Makoto Koike Microwave Research Institute) ○KOIKE, Makoto

医療・ヘルスケア・バイオテクノロジー

1PC-093 毛髪中のシスチンとシステインの定量方法の構築 (ホーユー) ○高津百合子・名和哲兵
1PC-094 炭酸塩配合ヘアブリーチによる毛髪ダメージに対するケア方法の研究 (ホーユー) ○平井里奈・名和哲兵
1PC-095 Development of multifunctional bio-nano cellulose composite scaffold and their characterization (Sch. Mat. Sci., JAIST) ○SONI, Saurabh; MISRA, Superb; MATSUMURA, Kazuaki
1PC-096 Solid materials that release a physiologically active gas, H₂S and NO, in response to air (MANA, NIMS) ○ISHIHARA, Shinsuke; IYI, Nobuo
1PC-097 Hyperpolarization of biomolecules by dynamic nuclear polarization using photo-excited triplet electrons (Grad. Sch. Eng., Kyushu Univ.; CMS, Kyushu Univ.; PRESTO, JST; RIKEN Nishina Center for Accelerator-Based Science) ○HAMACHI, Tomoyuki; KOUNO, Hironori; TATEISHI, Kenichiro; UESAKA, Tomohiro; KIMIZUKA, Nobuo; YANAI, Nobuhiro
1PC-098 Development of Cellular Imaging Probes based on A-D-A-Type Fluorescent Dyes (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.) ○MORIMOTO, Ami; HAYASHI, Yuichiro; MAEDA, Takeshi; HARADA, Atsushi; YAGI, Shige-yuki
1PC-099 Suppression of Cancer Migration by synthetic Extracellular matrix (OIST) ROY, Sonja; YUKAWA, Sachie; CORTES, William; ZHANG, Jiahao; KANNO, Ryo; ZHANG, Ye
1PC-100 Integrating information technology (IT) and off-the-shelf consumer electronics into paper-based analytical devices (PADs) (Fac. Sci. Tech., Keio Univ.) ○MAEJIMA, Kentō; KATOH, Aya; HIRUTA, Yuki; CITTERIO, Daniel
1PC-101 Development of new photoactivatable fluorophores for in vivo/ex vivo cell labeling (Grad. Sch. Med., The Univ. of Tokyo) ○KASHIMA, Hiroki; KAMIYA, Mako; URANO, Yasuteru
1PC-102 Kirigami-inspired patch device for electromyographic analysis of the palm muscle during baseball pitching (Grad. Sch. Advanced Sci. Eng., Waseda Univ.) ○MIHARA, Sho; YAMAGISHI, Kentō; NAKANISHI, Takenori; AZUMA, Masaru; TAKEOKA, Shinji; KANOSUE, Kazuyuki; NAGAMI, Tomoyuki; FUJIE, Toshinori
1PC-103 高アルカリ耐性を有する逆相炭酸カルシウム充填剤の基礎特性評価 (慶大院工) ○海津光儀・持田麻衣・チッテリオ ダニエル・今井宏明・蛭田勇樹
1PC-104 Cellophane-Based Analytical Devices for Colorimetric Analysis of Multiple Urine Components (Grad. Sch. Sci. Tech., Keio Univ.) ○SHIGEMORI, Hiroki; MAEJIMA, Kentō; SHIBATA, Hiroyuki; HIRUTA, Yuki; CITTERIO, Daniel
1PC-105 QR コード検出を利用したマイクロ流体紙基板デバイス (慶大院工) ○加登 絢・前島健人・蛭田勇樹・チッテリオ ダニエル
1PC-106 ストレプトマイセス族細菌由来 α-リポフラノシドの合成研究 (岐阜大工) ○十市優斗・岡 夏央・神藤優花・安藤香織
1PC-107 環状 β-アミノ酸を含むヘリックスペプチドライブラリを用いた薬剤候補スクリーニング (東大院理) ○川合茉莉奈・加藤敏行・菅裕明
1PC-108 フォトクロミックジアリールエテンの光誘起細胞毒性: チアゾール環と細胞毒性の相関 (龍大院理工・産総研創薬基盤) ○中川優磨・須丸公雄・森下加奈・金森敏幸・兵藤憲吾・横島 智・中村振一郎・内田欣吾
1PC-109 二方向観察可能な skin-on-a-chip による抗炎症剤評価 (2) : トリコセセン類への応用 (東洋大院理工) ○杉本茉莉花・安藤直子・佐々木直樹
1PC-110 Concentration-induced Auto-catalysis; General Method for Discovery of Proliferating Drugs (NINS) ○MATSUO, Muneyuki; KURIHARA, Kensuke
1PC-111 Identification of bioactive compound-protein interactions using a ribosome display system (Grad. Sch. Med. Life Sci., Yokohama City Univ.; RIKEN BDR) ○TAGUCHI, Kenshiro; WADA, Akira
1PC-112 DNA オリガミ分子機械光駆動の高速 AFM 観察 (関西大化学生命工) ○西川智貴・森高勇人・石川峻平・大矢裕一・葛谷明紀
1PC-113 細胞内 RNA 操作に向けた可視光で操作可能な新規 RNA 光クロスリンカー (北陸先端大マテリアル) ○松永峻彦・三原純一・笹子

しのぶ・中村重孝・藤本健造

- 1PC-114** 蛍光を誘発する活性化基としてカルボキシラートをを用いた酵素応答性蛍光プローブの開発 (京大院工) ○麻植雅裕・三木康嗣・大江浩一
- 1PC-115** Development of Micro Device for the Simple and Rapid Measurement of Progesterone Using the Paper Substrate (Grad. Sch. Chem. Sci. and Eng., Hokkaido Univ.) ○KOMATSU, Takeshi; MAEKI, Masatoshi; ISHIDA, Akihiko; TANI, Hirofumi; TOKESHI, Manabu
- 1PC-116** Structure affinity relationship-based ligand optimization of selective FKBP51 inhibitors towards treatment of widespread diseases (Inst. of Chem. and Biochem., TU Darmstadt) ○VOLL, Andreas; HAUSCH, Felix
- 1PC-117** キラルアミノ酸メタボロミクスによる認知機能マーカー探索 (花王・都老研) ○木村 鍊・辻村 久・土屋 勝・田中篤史・曾我聡子・鈴木淳子・太田宣康・金 憲経
- 1PC-118** High-performance superparamagnetic Co-Mn-Zn ferrite nanoparticles for magnetic hyperthermia therapy of cancer (Sch. of Chem. Sci. and Eng., Tongji Univ.) ○PAN, Jiong; WU, Qingsheng
- 1PC-119** 天然ペプチドに学んだ抗菌オリゴ糖の創製 (名工大院工) ○山村初雄・宮川 淳
- 1PC-120** グループバインダーの2重鎖DNA配列選択的な相互作用を利用したハイブリダイゼーション連鎖反応のラベルフリー検出 (和歌山大院システム工) ○坂本 隆・山田陸斗
- 1PC-121** Library construction of nonstandard peptides containing cyclic γ -amino acids and drug candidate screening by using RaPID system (Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo) ○MIURA, Takashi; KATOH, Takayuki; SUGA, Hiroaki
- 1PC-122** Enzyme-Mediated dual-targeted molecular assembly Achieves Synergistic Combination Therapy (Bioinspired Soft Matter Unit, OIST) ○WU, Xia; ZHANG, Ye
- 1PC-123** Site-selective N-terminal modification of proteins for biomedical applications (Grad. Sch. Eng., Osaka Univ.) ○ONODA, Akira; SUMIYOSHI, Eigo; INOUE, Nozomu; HAYASHI, Takashi
- 1PC-124** Synthesis, in silico screening through molecular docking and DFT studies of new Spiro Indole-Coumarin Hybrids (Acharya Narendra Dev College, Univ. of Delhi, India; Dep. of Chem., Univ. of Delhi) ○KHANNA, Pankaj; KHANNA, Leena; SINGHAL, Sugandha; JAIN, Subhash C
- 1PC-125** DNA オリガミ分子機械を用いた合成高分子の単分子分子鎖長推定 (関西大化学生命工) ○橋本裕貴・伊藤凌太・石川峻平・大矢裕一・葛谷明紀
- 1PC-126** アミノ酸系アニオン界面活性剤/両性界面活性剤混合系の水溶液物性に及ぼすヒドロキシ基の影響 (奈良女大院人間文化・日油・クラシエホームプロダクツ) ○矢田詩歩・景山朝子・下瀬川 紘・藤田博也・松江由香子・吉村倫一

本年度のハイライト分野「新しい有機化学」

- 1PC-127** Emission Mechanism of Pyridinium-Cyclic Enolate Betaine Fluorophores (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.) ○HAYASHI, Yuichiro; MAEDA, Takeshi; YAGI, Shigeyuki
- 1PC-128** Emission Color Tuning in 4-(2-Thienyl)pyridinium-Cyclic Enolate Betaine Dyes (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.) ○SAIKUSA, Mao; HAYASHI, Yuichiro; MAEDA, Takeshi; YAGI, Shigeyuki
- 1PC-129** Fluorescence Properties of Cyclic Enolate-Modified 4-(4-(*N,N*-Diphenylamino)styryl)pyridinium Betaine Dyes (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.; Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.) ○SHIMIZU, Kei; HAYASHI, Yuichiro; MAEDA, Takeshi; YAGI, Shigeyuki
- 1PC-130** 外部刺激により多様な発光色の発現が可能なソフトクリスタル (阪大院工・筑波大数理・自治医大医・高エネ研・神戸大分子フォトセ・ユニソク・日大工) ○荒堀郁也・末延知義・鈴木充朗・中山健一・藤内謙光・笠井秀隆・西堀英治・一柳光平・佐藤文菜・野澤俊介・立川貴士・中川達央・加藤隆二
- 1PC-131** 光照射下で構造相転移により発光増強を示すOFF-ON型光記録ソフトクリスタル (阪大院工・自治医大医・高エネ研・神戸大分子フォトセ・北大院理) ○諸戸良紀・末延知義・鈴木充朗・中山健一・施 宏居・藤内謙光・一柳光平・佐藤文菜・野澤俊介・立川貴士・岩佐 豪
- 1PC-132** Development of New Catalytic Synthetic Methods of *N*-Unprotected Ketimines (Grad. Sch. Pharm., Kyushu Univ.) ○MORIMOTO, Hiroyuki; KONDO, Yuta; KADOTA, Tetsuya; HIRAZAWA, Yoshinobu; MORISAKI, Kazuhiro; OHSHIMA, Takashi
- 1PC-133** Fluoradene: Curved π -System and Its Structural Conversion via Anionization (Dept. Appl. Chem., Nat. Def. Acad.) ○SHOTARO, Hayashi
- 1PC-134** アセタール保護を利用したジメチロールブタン酸 [2,2-ビス(ヒドロキシメチル)酪酸]の新規合成法 (コニシ) ○前田真也・乾 純・大河原義明・遠藤 剛
- 1PC-135** Structural diversification of glycolipid-type supramolecular hydrogels showing color change depending on aggregation states (Fac. Sci., Kochi Univ.; Fac. Eng., Gifu Univ.; Fac. Sci. Tech., Kochi Univ.) ○OSUMI, Ryoya; IKEDA, Masato; IZUMI, Masayuki; ○OCHI, Rika
- 1PC-136** Development of Dinuclear Organoplatinum(II) Complexes Towards Control of Excimer Photoluminescence (Grad. Sch. Eng., Osaka Pref. Univ.; Dept. of Tech. Syst., Osaka Pref. Univ. Coll. Tech.) ○HOTEL, Junichi; KAKEMIZU, Kairi; MAEDA, Takeshi; TSUJIMOTO, Hidetaka; YAGI, Shigeyuki
- 1PC-137** アセン化合物の金属錯体骨格中における配向制御集積に基づ

く偏極ラジカル生成 (九大院工・九大CMS・JST さきがけ・理研仁科セ) ○折橋佳奈・藤原才也・立石健一郎・上坂友洋・君塚信夫・楊井伸浩

- 1PC-138** 気水界面における両親媒性キラル四核錯体のヘリシティー制御 (金沢大院自然・金沢大 NanoLSI・物材機構 RCFM・物材機構 MANA・東大院新領域) ○高橋瑞歩・酒田陽子・中西和嘉・森 泰蔵・有賀克彦・秋根茂久
- 1PC-139** サリチリデンイミン型クリプトファンの金属錯形成による多核パラジウム錯体の合成とキラル自己識別 (金沢大院自然・金沢大 NanoLSI) ○金森瑛大・酒田陽子・秋根茂久
- 1PC-140** 協同効果を利用した剛直なジフェニルビオロゲンを軸成分に含む[3]ロタキサンの選択的合成 (金沢大院自然・金沢大 NanoLSI) ○小倉岳哉・酒田陽子・秋根茂久
- 1PC-141** Synthesis of Optically Active Poly(diphenylacetylene)s Bearing Anilide Groups in the Side Chain and Their Application to Chiral Stationary Phases for HPLC (Grad. Sch. Nat. Sci. Technol., Kanazawa Univ.) ○NOZAKI, Mai; HIROSE, Daisuke; NISHIMURA, Tatsuya; MAEDA, Katsuhiro
- 1PC-142** Selective synthesis of cyclic monomer with dynamic nature and its application to polymer and supramolecular chemistry (Sch. Mater. & Chem. Tech., Tokyo Tech.) ○AOKI, Daisuke; OTSUKA, Hideyuki
- 1PC-143** Exploration for inhibitors of lipopolysaccharide from marine organisms (Sch. Adv. Eng., Kogakuin Univ.) ○SANO, Takuya; HITOMI, Yuki; MIYAMOTO, Junichino; MATSUNO, Kenji; OHNO, Osamu
- 1PC-144** Macromolecular Helicity Induction and Memory in Poly(biphenylacetylene)s Accompanied by Time-Dependent Helicity Inversion (Grad. Sch. Nat. Sci. Technol., Kanazawa Univ.) ○FUKUDA, Mayu; HIROSE, Daisuke; TANIGUCHI, Tsuyoshi; NISHIMURA, Tatsuya; YASHIMA, Eiji; MAEDA, Katsuhiro
- 1PC-145** Structural analysis and biological activity of novel kynurenine-production inhibitor isolated from the marine cyanobacterium (Sch. Adv. Eng., Kogakuin Univ.) ○HITOMI, Yuki; SASAKI, Tomomi; NAKAKAZE, Nanae; ASAI, Akira; TAKIKAWA, Osamu; OHNO, Osamu; MATSUNO, Kenji
- 1PC-146** Binding Behavior of Peryleneimide Derivatives on Chiral Self-Assembled Nanofibers (Grad. Sch. Mat. Sci., NAIST) ○YONEZAWA, Shumpei; KAWAI, Tsuyoshi; NAKASHIMA, Takuya
- 1PC-147** Regiodivergent Click Reaction of Bromo(phosphoryl)ethyne with Azides: Synthesis and Transformation of Bromotriazoles (Fac. of Eng., Okayama Univ. of Sci.) ○OKUDA, Yasuhiro; TSUCHIDA, Yoshiyuki; IMAFUKU, Kazuto; NISHIGAMI, Satoshi; ISHIHARA, Naoya; ORITA, Akihiro
- 1PC-148** 環状二核コバルト(III)メタロホストを輪成分としたロタキサンへのアミン添加による構造変換 (金沢大院自然・金沢大 NanoLSI) ○山本美里・酒田陽子・秋根茂久
- 1PC-149** Iridium Catalyzed Allylation of Hydroxylamine: Access to Chiral Allyl Amine and α -Amino Acid (Sch. of Che. Sci. and Eng., Tongji Univ.) ○CHEN, Jiteng; ZHAO, Xiaoming
- 1PC-150** Deep Learning Analysis of Protein Molecules Using the Codification Techniques of Conformations (AIST) ○IZUMI, Hiroshi
- 1PC-151** 127-Iodine NMR spectrometry used for structural analysis of organic compounds (Chiba Univ. FC) ○KAGAWA, Natsuko; HOSONO, Kazumi
- 1PC-152** Supramolecular properties of reduction-responsible water-soluble cyclophanes (Grad. Sch. Sci., Fukuoka Univ.) ○HAYASHIDA, Osamu; SHIBATA, Kana; NISHINO, Kana
- 1PC-153** Electrochemistry of (β -Diketono)Ruthenium Complex/Cyclodextrin-Modified Gold Nanoparticle Inclusion Complex (Fac. Sci. Tec., Sophia Univ.) ○SHINONO, Hiromichi; CASULLI, Maria Antonietta; ENDO, Akira; HASHIMOTO, Takeshi; HAYASHITA, Takashi
- 1PC-154** Design and Evaluation of Ultrasmall Cyclodextrin Nanogels Using New Crosslinker (Fac. Sci. Tec., Sophia Univ.) ○KASHIDAIRA, Atsutoshi; TAKEUCHI, Satomi; HASHIMOTO, Takeshi; HAYASHITA, Takashi
- 1PC-155** Response Function of Ditopic Azo probe Possessing Phenylboronic Acid and Dipicolylamine (Fac. Sci. Tec., Sophia Univ.) ○ASHINO, Tomotake; TAKEMOTO, Yoshiki; ISHIKAWA, Shun; HASHIMOTO, Takeshi; HAYASHITA, Takashi
- 1PC-156** Design of Nitro / Fluoro Phenylboronic Acid Fluorophore/Vesicle Complexes and Their Sugar Recognition Function (Fac. Sci. Tec., Sophia Univ.) ○HAYAKAWA, Akihiro; EBISAWA, Yuu; ENDOU, Miwa; HASHIMOTO, Takeshi; HAYAKASHITA, Takashi
- 1PC-157** Design of Dipicolylamine/Quaternary Amine Dendrimer Complexes and Their Bacteria Discrimination Function (Fac. Sci. Tec., Sophia Univ.) ○MANITA, Koichi; YOYASU, Asuka; HASHIMOTO, Takeshi; HAYASHITA, Takashi
- 1PC-158** Evaluation of Recognition Function for Bacteria and Chemical Modification of Ultrasmall Nanogels (Fac. Sci. Tec., Sophia Univ.) ○SAGEHASHI, Kouta; KOMATSUZAKI, Maika; TAKEUCHI, Satomi; HASHIMOTO, Takeshi; HAYASHITA, Takashi
- 1PC-159** Selective synthesis of Hetero-multinuclear metallic complexes by using symmetrical and unsymmetrical porphyrin ligands (Grad. Sch. Sci., The Univ. of Tokyo; Rigaku Corp.) ○UBE, Hitoshi; IIZUKA, Fumiya; ENDO, Kenichi; SATO, Hiroyasu; SHIONOYA, Mitsuhiro
- 1PC-160** Electrochemical Phosphate Derivatives Anion Recognition of Cyclodextrin Modified with (β -Diketono)Ruthenium Complex (Fac. Sci.

- Tec., Sophia Univ.) ○NAKAJO, Hitomi; CASULLI, Maria Antonietta; HASHIMOTO, Takeshi; HAYASHITA, Takashi
- 1PC-161** Synthesis and Evaluation for Sugar Recognition Fluorescent Probes Having Anthracene Fluorophore with Alkyl Spacer (Fac. Sci. Tec., Sophia Univ.) ○HIRAHARA, Yuya; KASAHARA, Chisato; HASHIMOTO, Takeshi; HAYASHITA, Takashi
- 1PC-162** ペリレン光レドックス触媒を用いたエテニルスルホンの脱スルホニル化反応 (岡山理大工) ○折田明浩・渡部 光・足立一将・赤木宥太・奥田靖浩・若松 寛
- 1PC-163** Cyclopropanation of aliphatic esters and alcohols extended to one-step catalytic linear sulfone synthesis (OIST) ○KHASKIN, Eugene; VOJKOVSKY, Tomas; DEOLKA, Shubham